

HITACHI

UPS

ネットワークマネジメントカード 取扱説明書

【形名 : GQ-BUA703A/GQ-BUA703N】

【形名 : GQ-BURA5000HNN/HNA
GQ-BURA5000HN3/HN4
GQ-BURA5000HN5/HN6
GQ-BURA5000HN7/HNC
GQ-BURA5000HND/HNL

Network Management Card ユーザーズガイド

■ 対象製品

ネットワークマネジメントカード[GQ-BUA703x]

無停電電源装置[GQ-BURA5000HNx]

■ 商標類

PowerChute は、Schneider Electric Industries SAS またはその関連会社の登録商標または商標です。

Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国でRed Hat, Inc.の登録商標もしくは商標です。

VMwareおよびVMwareの製品名は、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記			製品名
Windows	Windows2012	Windows2012R2	Windows Server2012 R2 Datacenter Windows Server2012 R2 Standard
		Windows2012	Windows Server 2012 Datacenter Windows Server 2012 Standard
	Windows2008	Windows2008 R2	Windows Server 2008 R2 Datacenter Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows Server 2008 R2 Standard
		Windows2008	Windows Server 2008 Datacenter Windows Server 2008 Enterprise Windows Server 2008 Standard

■ 略語

このマニュアルで使用する略語を次に示します。

表記	製品名
PCNS	PowerChute® Network Shutdown
UPS	無停電電源装置
NMC	Network Management Card
JRE	Java Runtime Environment
vMA	VMware vSphere Management Assistant
VMware	VMware® ESX Server VMware® ESXi Server

■ 発行

2015 年 3月

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2015, Hitachi, Ltd.

目次

はじめに	6
重要なお知らせ	6
装置の信頼性について	6
規制・対策などについて	6
本書について	7
登録商標・商標について	7
著作権について	7
マニュアルの表記	7
お問い合わせ先	9
1. システム要件	14
2. 搭載可能な UPS	15
3. Network Management Card の概要	16
4. 作業フロー	18
5. 初期セットアップ	20
5.1 NMC の搭載	20
5.2 TCP/IP の設定 (初期設定)	21
5.3 動作確認	24
6. 機能	26
6.1 Home	26
6.2 Status	27
6.2.1 UPS	27
6.2.2 Outlet Groups	28
6.2.3 Universal I/O (BURA5000 の場合のみ)	28
6.2.4 Network	29
6.3 Control	30
6.3.1 UPS	30
6.3.2 Outlet Groups	32
6.3.3 Security	33
6.3.4 Network	33
6.4 Configuration	34
6.4.1 Outlet Groups	34
6.4.2 Power Settings	36

6.4.3 Shutdown	37
6.4.4 UPS	39
6.4.5 Self-Test Schedule	40
6.4.6 Scheduling	40
6.4.7 Firmware update	42
6.4.8 PowerChute Clients	42
6.4.9 Sync Control	43
6.4.10 Third Party Support	43
6.4.11 Universal I/O	43
6.4.12 Security	43
6.4.13 Network	48
6.4.14 Notification	57
6.4.15 General	64
6.4.16 Logs	66
6.5 Tests	69
6.5.1 UPS	69
6.5.2 Network	69
6.6 Logs	70
6.6.1 Events	70
6.6.2 Data	72
6.6.3 UPS	74
6.6.4 Energy Usage	74
6.6.5 Firewall	75
6.7 About	76
6.7.1 UPS	76
6.7.2 Network	76
6.7.3 Support	77
7. 通知機能	78
7.1 イベントアクション	78
7.2 電子メール設定	78
7.3 SNMP trap 設定	78
7.4 Syslog 設定	78
7.5 イベントログ	79
8. NMC ハードウェア仕様	80
8.1 各部の名称と機能	80
8.2 NMC の LED 表示	81

9. 設定ファイルの保存/適用	83
10. パスワードを忘れた場合	85
11. トラブルと思った時は	86
12. 調査資料一覧および採取方法	87
13. 仕様	88

はじめに

このたびは、Network Management Card(以降、NMC と略します。)/NMC 標準搭載無停電電源装置(5000VA モデル)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は、NMC をご使用になる際の注意事項をまとめたものです。ご使用前に、必ずお読みくださいませうお願い致します。

重要なお知らせ

- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。なお、保証と責任については保証書裏面の「保証規定」をお読みください。

装置の信頼性について

ご購入いただきました装置は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は意図されておらず、保証もされていません。このような高信頼を要求される用途へは使用しないでください。

高信頼性を必要とする場合には別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例

- ・化学プラント制御 ・医療機器制御 ・緊急連絡制御など

規制・対策などについて

■ 電波障害自主規制について

本装置は、クラス A 情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■ 輸出規制について

本製品は日本国内専用です。本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明の場合はお買い求め先にお問い合わせください。

なお、この装置に付属する周辺機器やプレインストールされているソフトウェアも同じ扱いになります。

本書について

取り扱いについては、本取扱説明書の他に、UPS 管理ソフト及び UPS のユーザーマニュアルに従ってご使用ください。UPS 管理ソフト及び UPS 添付の APC 社製ユーザーズマニュアルを参照される場合、記載されている製品の型式は、次のように日立形名と対応しています。

(2015 年 3 月現在)

日立形名	Schneider Electric 社 型式(商品名)
BUA703	: AP9630J(Network Management Card)
BURA5000	: HTRT5000RMLJ
BURA3000	: HTX3000RMLV2U/HTX3000RMHV2U
BURA1500	: HTT1500RMJ2U
BURA120x	: HTM1200RMJ1U
BUTA1500	: HTT1500J
BUTA1000	: HTT1000J
BUTA0750	: HTT750J

登録商標・商標について

本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について





このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2015. All rights reserved.

マニュアルの表記

■マークについて

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

 警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
通知	これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。
 制限	人身の安全や装置の重大な損害と直接関係しない注意書きを示します。
 補足	装置を活用するためのアドバイスを示します。

■ 形名表記について

マニュアル内の形名表記において、“GQ-”を省略、形名末尾の「A」および「N」を省略することがあります。


形名表記	対象となる形名
BUA703	GQ-BUA703A、および GQ-BUA703N

お問い合わせ先

■ 操作や使いこなしについて

本製品のハードウェアについての技術的なお問い合わせは、HCA センタ(HITAC カスタマ・アンサ・センタ)でご回答いたしますので、次のフリーダイヤルにおかけください。受付担当がお問い合わせ内容を承り、専門エンジニアが折り返し電話でお答えするコールバック方式をとらせていただきます。

HCA センタ(HITAC カスタマ・アンサ・センタ)

 0120-2580-91

受付時間

9:00～12:00／13:00～17:00(土・日・祝日、年末年始を除く)


お願い

- 質問内容を FAX でお送りいただくこともありますので、ご協力をお願いいたします。
- HITAC カスタマ・アンサ・センタでお答えできるのは、製品のハードウェアの機能や操作方法などです。OS や各言語によるユーザープログラムの技術支援は除きます。
- 明らかにハードウェア障害と思われる場合は、販売会社または保守会社にご連絡ください。

■ 欠品・初期不良・故障について

障害本製品の納入時の欠品や初期不良および修理に関するお問い合わせは日立コールセンタにご連絡ください。

日立コールセンタ

 0120-921-789

受付時間

9:00～18:00(土・日・祝日、年末年始を除く)

お願い

- お電話の際には、製品同梱の保証書をご用意ください。
- Web によるお問い合わせは次へお願いします。
https://e-biz.hitachi.co.jp/cgi-shell/qa/rep_form.pl?TXT_MACTYPE=1

■技術支援サービスについて

ハードウェアやソフトウェアの技術的なお問い合わせについては、「技術支援サービス」による有償サポートとなります。

総合サポートサービス「日立サポート 360」

ハードウェアと Windows など OS を一体化したサポートサービスをご提供いたします。詳細は次の URL で紹介しています。

・ホームページアドレス

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/support360/index.html>

インストールや運用時のお問い合わせや問題解決など、システムの円滑な運用のためにサービスのご契約をお勧めします。

■装置の廃棄について

・事業者が破棄する場合

装置を破棄するときには廃棄物管理表(マニフェスト)の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、(社)全国産業廃棄物連合会に用意されています。

・個人が破棄する場合

装置を破棄する場合は、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

<お問い合わせ先 TEL>

HCA センター:0120-2580-91

安全にお取り扱いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。

	<p>これは、安全警告記号です。 人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。 起こりうる傷害または死を回避するために、このシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。</p>
	<p>警告</p> <p>これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。</p>
	<p>注意</p> <p>これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。</p>
通知	<p>これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。</p>



【表記例1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例2】分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。なお、⊘の中に絵がないものは一般的な禁止事項を示します。



【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。なお、●は一般的に行っていただきたい事項を示します。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
- 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- 本装置に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルも参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。これを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

■一般的な安全上の注意事項



■異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、この製品を搭載している装置の電源を切り、装置すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電、火災の原因となります。また、この製品を搭載している装置はすぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



■電池の取り扱い

次のようなことは行わないでください。取り扱いを誤ると過熱・破裂・発火・液漏れなどでけがをしたり、発煙・火災の原因となります。

- ・分解しない
- ・100 °C以上に加熱しない
- ・焼却しない
- ・水に濡らさない
- ・指定以外の電池は使用しない



■信号ケーブルについて

・ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとけがや接続機器の故障の原因となります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。

・ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。



■梱包用ポリ袋について

装置の梱包用エアキャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。



■ 梱包用ポリ袋について

装置の梱包用エアキャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。

■ 製品の損害を防ぐための注意



■ 湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって故障の原因となります。



■ 信号ケーブルの種類について

コンピュータとの接続には指定のケーブルを使用してください。指定外のケーブルを使用するとUPS または接続装置が故障するおそれがあります。



■ 温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると故障の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



■ 修理・改造・分解

自分で修理や改造・分解をしないでください。故障の原因となります。



■ 電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設定した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- ・テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする

1. システム要件

本製品は、以下のシステム装置と接続構成にてご使用になることができます。

[ハードウェア要件]

・システム装置

日立アドバンスドサーバHA8000シリーズ

日立アドバンスドサーバHA8500シリーズ

統合サービスプラットフォームBladeSymphony

補足: 適用機種の詳細については、弊社営業担当にお問い合わせください。

・ネットワーク接続環境

[Webブラウザ]

・Internet Explorer Ver5.5以降

・Firefox

2. 搭載可能な UPS

日立形名	注記事項/所有アウトレットグループ
BURA120x	Outlet Group1/Outlet Group2
BURA1201	Outlet Group1/Outlet Group2
BURA1500	Maingroup/Outlet Group1
BURA3000	Outlet Group1/Outlet Group2/OutletGroup3
BURA5000	NMC標準搭載モデル。アウトレットグループなし
BUTA0750	アウトレットグループなし
BUTA1000	Maingroup/Outlet Group1
BUTA1500	Maingroup/Outlet Group1

3. Network Management Card の概要

Network Management Card(以降NMCと呼ぶ)は、複数のオープンスタンダードを使用してサポート対象のデバイスを管理できるWebベースの製品です。使用できるオープンスタンダードは、次のとおりです。

- Hypertext Transfer Protocol(HTTP)
- Telnet、Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer(HTTPS)
- Secure SHell(SSH)
- Simple Network Management Protocol(SNMP)
- File Transfer Protocol(FTP)
- Secure CoPy(SCP)

NMCの主な機能は次のとおりです。

- UPS の制御およびセルフテスト機能
- データとイベントログの作成
- 管理ソフトPowerChute Network Shutdown(以降PCNSと呼ぶ)ユーティリティをサポートしています。
PCNSの設定と動作についてはUPS管理ソフト添付の「日立補足説明書」を参照してください。
- Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)または BOOTstrap Protocol (BOOTP)サーバを使用し
てNMCのネットワーク値(TCP/IP)を取得できます。
- イベントの記録(NMCとSyslog による)、電子メール、SNMPトラップを通した通知の設定。重要度ま
たはイベントのカテゴリに基づいて、1つのイベントでもイベントグループでも設定することができます。
- 設定済みのNMCから未設定のNMCにユーザの環境設定(.ini)ファイルをバイナリ形式ファイルに変換
せずにエクスポート可能
- 認証および暗号化のセキュリティプロトコルの選択を提供

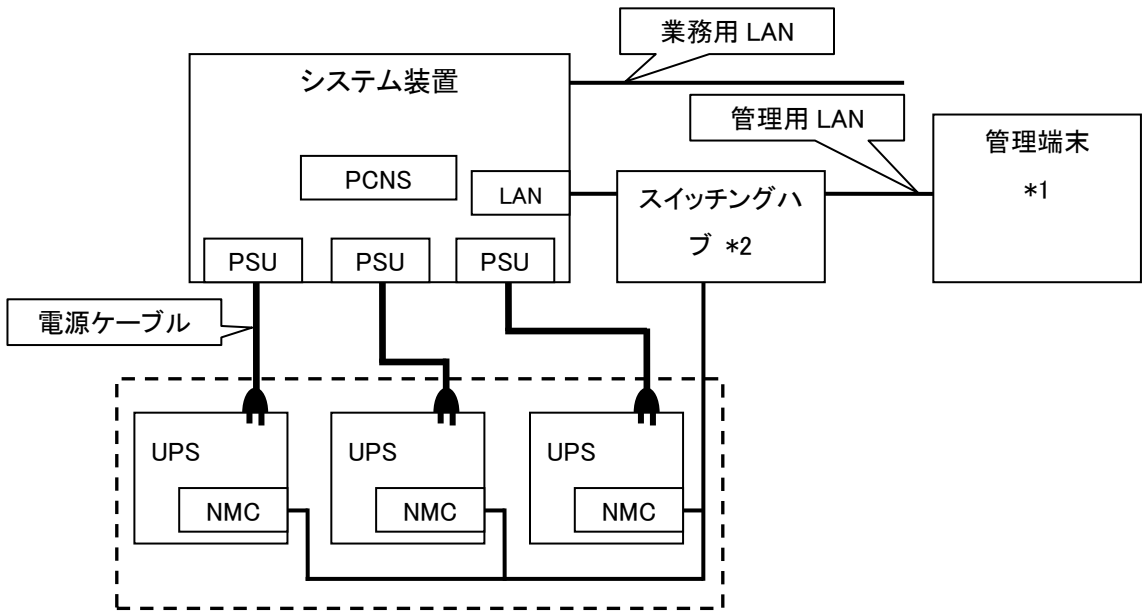


図 3.1 構成例(UPS 冗長構成)

*1)PCNS インストール装置とは別の端末からリモートで管理を行う場合のみ必要です。PCNS 管理 UI は IE を使用するため、管理端末としてのみ使用する装置上に PCNS をインストールする必要はありません。

*2)スイッチング HUB においても停電対策を行なってください。

4. 作業フロー

本製品のご使用までの手順は下記の通りです。

表 4-1 作業フロー図

手順	参照先
1.NMCの搭載	5.1章を参照
2.TCP/IPの設定	5.2章を参照
3.動作確認	5.3章を参照
4.認証フレーズ、パスワードの変更	認証フレーズ: 6.4.3章の”Shutdown”にある設定項目”Authentication Phrase”を参照 パスワード: 6.4.12章の”Security > Local Users > Management”にある設定項目”New Password”を参照
5.時刻設定	6.4.15章の”General > Date/Time > Mode”を参照
6.PCNSの インストール	PowerChute Network Shutdown 日立補足説明書を参照

ご使用前に下記の注意事項をよくお読みください。

(1) 添付品の確認

本製品には表4-2の添付品が同梱されています。

本製品をご使用になる前に表 4-2に示した添付品をご確認ください。

表 4-2 添付品一覧

名称	備考
NMC	製品本体
NMC ユーティリティ CD	
シリアル設定ケーブル(940-0299)	

※BURA5000の添付品につきましては、UPS本体の取扱説明書をご確認ください。

(2) ドキュメントの確認

本製品には表4-3のドキュメントがユーティリティCDに同梱されています。

本製品をご使用になる前に表 4-3に示したドキュメントをご確認ください。

表 4-3 ユーティリティCDドキュメント一覧

名称	概要	参照方法 (CD-ROM 内パス)
インストールガイド	本製品のインストール手順の説明	¥doc¥ja¥990-3404c-ja.pdf
ユーザーズガイド	NMC の動作の説明とセキュリティウィザード、デバイス IP 設定ウィザード等について説明しています。	¥doc¥ja¥990-3402f-ja.pdf
セキュリティハンドブック	NMC に関する基本的なセキュリティについて説明しています。	¥doc¥ja¥990-3895-ja.pdf
リファレンスガイド	SNMP ベースの管理を実現する SNMP MIB を使った本製品の管理方法について説明しています。	¥doc¥ja¥990-3897-ja.pdf

(3) ネットワーク環境の使用についての注意事項

約25秒間隔で、NMCからPCNSをインストールしたシステム装置に対して、UPSのステータス通知用パケットがUDPで送付されます。UPSの状態を正しく把握するためにPCNSをインストールしたシステム装置では管理用のLANなど業務負荷に影響されないネットワーク環境を使用することを推奨します。なお、PCNSとNMC間の通信が数分間できない場合はPCNS側に「**UPS has turned off**」と「**Input power has been restored**」のログが連続で出力される場合があります。実際にはUPSの電源はオフになっておりませんので、ネットワーク環境を見直してください。

5. 初期セットアップ

本製品のご使用までの手順は下記の通りです。

5.1 NMC の搭載

搭載から動作確認にいたるまでの作業手順は下記のようになります。

1. NMC を搭載する UPS の電源を完全に停止させます。

UPS の停止方法

- (1)UPS の電源をオフにします。オフにする方法は各 UPS のマニュアルを参照してください。
- (2) UPS を商用コンセントから外します
- (3) UPS の電源プラグをコンセントから抜いた後、約 10 分間放置します。

2. UPS アクセサリスロットカバーを取り外します。

UPS 背面にあるアクセサリスロットカバーを取り外す(ネジ2本)

UPS のスロットカバーはお客さまが保管してください。

3. 搭載

本ボードをアクセサリスロットのガイドに沿ってゆっくり挿入します。

4. 固定

UPS アクセサリスロットカバーを固定していたネジ2本を使用し、本ボードを固定します。

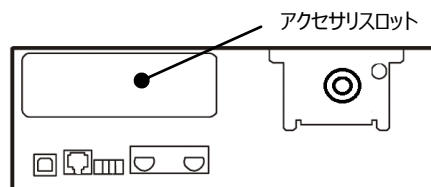


図 5.1 UPS 背面 (BURA3000 の場合)

5. UPS の起動

UPS の入力ケーブルを商用コンセントと接続し、UPS の電源をオンにしてください。

5.2 TCP/IP の設定 (初期設定)

工場出荷時 (デフォルト値) のネットワーク設定は次のとおりです。

IPアドレス	192. 168. 1. 100
サブネット	255. 255. 255. 0
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 1. 1

システム環境に合わせてIPアドレスの設定を変更してください。

デフォルトゲートウェイの項目はデフォルトゲートウェイが存在しない場合でも設定する必要があります。後述の「制限」にある「 デフォルトゲートウェイの設定について」を参照して、デフォルトゲートウェイを必ず設定してください。

IPアドレスの設定方法は、添付のシリアル設定ケーブル (940-0299) を使用する方法とLCD (前面ディスプレイ) があるUPSの場合はLCDから設定できます。

[添付のシリアル設定ケーブル (940-0299) を使用する場合]

NMC前面のシリアルポートに接続されているローカルコンピュータを使用して、コマンドラインインターフェイスにアクセスすることができます。

1. ローカルコンピュータでアクセスに使用するシリアルポートを選び、このポートを介しているすべてのサービスを無効にします。
2. 添付のシリアル設定ケーブル (940-0299) を用いて、選択したポートをNMCのフロントパネルにあるシリアルポートに接続します。
3. 端末プログラム (HyperTerminalなど) を起動し、選択したポートの設定を9600bps、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット、フロー制御なしに変更します。変更内容を保存します。
4. ENTER キーを押して (必要に応じて繰り返し押ししてください)、[User Name] プロンプトを表示します。
5. ユーザ名とパスワードとして「apc」を入力します。

NMCにアクセスすると下図のようにログイン画面が出力します。

```

User Name : apc
Password  : ***

American Power Conversion      Network Management Card AOS      v6.2.1
(c) Copyright 2014 All Rights Reserved Smart-UPS & Matrix-UPS APP      v6.2.1
-----
Name       : apcD87C2E                      Date : 10/01/2014
Contact    : Unknown                        Time : 11:04:59
Location   : Unknown                        User  : Super User
Up Time    : 5 Days 23 Hours 51 Minutes     Stat  : P+ N4+ N6+ A+

Type ? for command listing
Use tcpip command for IP address(-i), subnet(-s), and gateway(-g)

```

6. 図中黄線部の表示から NMC のステータスが「Stat: P+ N4+ N6+ A+」であることを確認します。

それぞれの表示の意味は下表のとおりです。

なお、N4、N6 はそれぞれ IPv4、IPv6 のネットワークのステータスを示します。

P+	オペレーティングシステム(AOS)は正常に稼動しています。
N+	ネットワークは正常に機能しています。
N?	BOOTP リクエストサイクルの処理中です。
N-	NMC がネットワークへの接続に失敗したことを示します。
N!	NMC の IP アドレスは別のデバイスにより使用されています。
A+	アプリケーションは正常に機能しています。
A-	アプリケーションでチェックサムのエラーが発生しました。
A?	アプリケーションの初期化中です。
A!	アプリケーションエラーです。

7. 以下の3つコマンドを使用し、ネットワークの設定を行います(斜体の部分は変数を示します)。

コマンド: `tcpip -i yourIPaddress`

コマンド: `tcpip -s yourSubnetMask`

コマンド: `tcpip -g yourDefaultGateway`

それぞれの変数に対し、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で数値を入力します。

例えば、システムのIP アドレスとして「192.168.1.100」を設定する場合、次のコマンドを入力してから ENTERキーを押します。

```
tcpip -i 192.168.1.100
```

8. 変更内容を適用するため、コマンド「reboot」を入力してから、ENTERキーを押してください。

確認表示後、「yes」と入力して、ENTERキーを押してください。

NMCが再起動します(再起動するのに1~2分かかります)。

9. コマンドプロンプト上からpingコマンドを使用して、設定したIPアドレスへの接続確認を行ってください。

```
ping 192.168.1.100
```

[LCDで設定する場合]

LCDがあるUPSの場合、LCDを操作することでネットワーク設定が可能です。

各ボタンの位置については各UPSのマニュアルを参照してください。

1. UPSのLCDの[ESC]ボタンを押し、「Main Menu」を”Status”に切り替えてください。

下ボタンを数回押し、「Configuration」を選択して[Enter]ボタンを押してください。

下ボタンを数回押し、「Menu Type」を選択して[Enter]ボタンを押してください。

「Advanced」を選択、[Enter]ボタンを押してください。

※既に「Advanced」が表示されている場合は、変更の必要はありません。

```
Main Type:
Advanced
```

2. UPSのLCDの[ESC]ボタンを数回押し、「Main Menu」を”Status”に切り替えてください。

下ボタンを数回押し、「Configuration」を選択して[Enter]ボタンを押してください。

下ボタンを数回押し、「Config NMC:」を選択して[Enter]ボタンを押してください。

```
Config NMC:
```

4. [Enter]ボタンを押して、” NMC IP Address ”を表示します。

続けて[Enter]ボタンを押し、下ボタンを数回押し”Manual”にして[Enter]ボタンを押して決定します。

```
NMC IP Address
Mode:Manual
```

5.” NMC IP Address ”のIPアドレス設定画面に遷移しますので、上ボタン、下ボタンでアドレスを指定し

[Enter]ボタンで決定し、次の桁も同様に決定します。間違えた場合は[ESC]ボタンで前の桁に戻り

再度設定してください。

```
NMC IP Address
192.168.1.100
```

6.IPアドレスが決定されると”NMC Subnet Mask”に遷移します。手順5と同様に操作して

サブネットマスクを設定してください。

```
NMC Subnet Mask
255.255.255.0
```

7.サブネットマスクが決定されると”NMC Def Gateway”に遷移します。手順5と同様に操作して

デフォルトゲートウェイを設定してください。

```
NMC Def Gateway
192.168.1.1
```

8.デフォルトゲートウェイが決定されるとNMCのリブートが実行されますので終了するまで待ちます。

```
NMC is
Rebooting..
```

- 9.手順1.で「Advanced」に変更した場合は、手順1.と同様に操作して「Standard」に戻してください。
- 10.ローカルコンピュータのコマンドプロンプト上からpingコマンドを使用して、設定したIPアドレスへの接続確認を行ってください。
- ```
ping 192.168.1.100
```

#### ■NMC のウォッチドッグ機構



NMC はネットワークへのアクセスを確保できるよう内部ウォッチドッグ機構を備えています。例えば NMC がネットワークトラフィック (SNMP のような直接送信、またはアドレス解決プロトコル [ARP] リクエストのような一斉送信のどちらの場合でも) を受信しない状態が 9.5 分間続いた場合、NMC に問題があると判断されカードが再起動されます。

#### ■デフォルトゲートウェイの設定について

NMC に必ずデフォルトゲートウェイの設定を行ってください。デフォルトゲートウェイが無い、または必要としない環境の場合は同一サブネット上に存在しネットワークで動作しているコンピュータの IP アドレスをデフォルトゲートウェイに指定してください。

NMC はデフォルトゲートウェイと 4.5 分間隔で通信をしており、デフォルトゲートウェイと通信ができなくなった場合、異常であると判断して NMC を 12 分間隔でリセットし続けます。この状態では想定どおりの動作ができない可能性があります。

NMC が再起動されると「UPS has turned off」と「Input power has been restored」のログが採取されることがあります。

■RFC1918 standard で規定されている範囲外の値を設定しないでください。

■ループバックアドレス (127.0.0.1) をデフォルトゲートウェイアドレスとして使用しないでください。これにより、カードが無効になります。その場合、シリアル接続でログオンしてから TCP/IP 設定をデフォルトにリセットする必要があります。

## 5.3 動作確認

NMCのUPSへの搭載、ケーブル接続が完了したら実際にシステム装置からNMCの動作確認を行います。

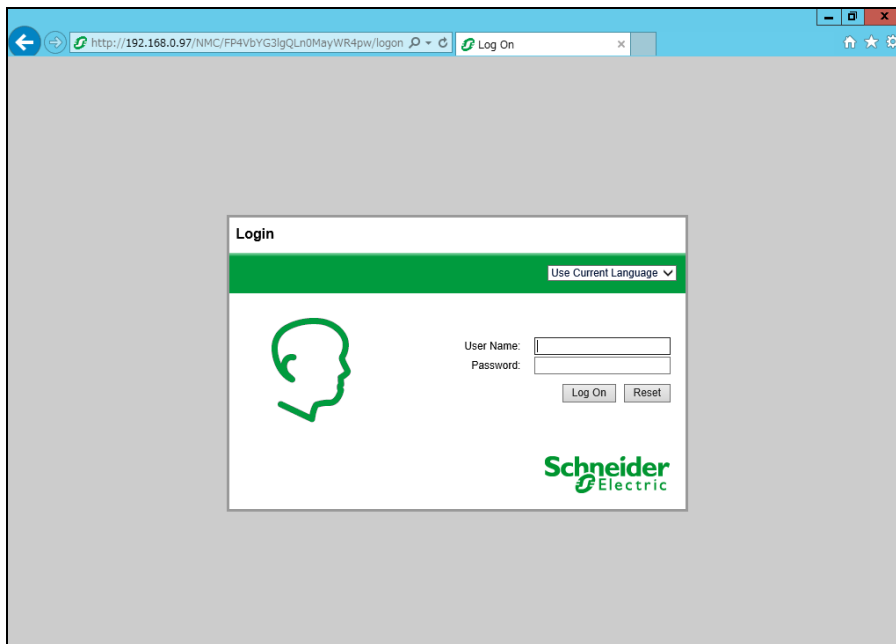
- 1.システム装置でInternet Explorerを起動します。
- 2.下記URLを指定します。

```
http://xxx.xxx.xxx.xxx
```

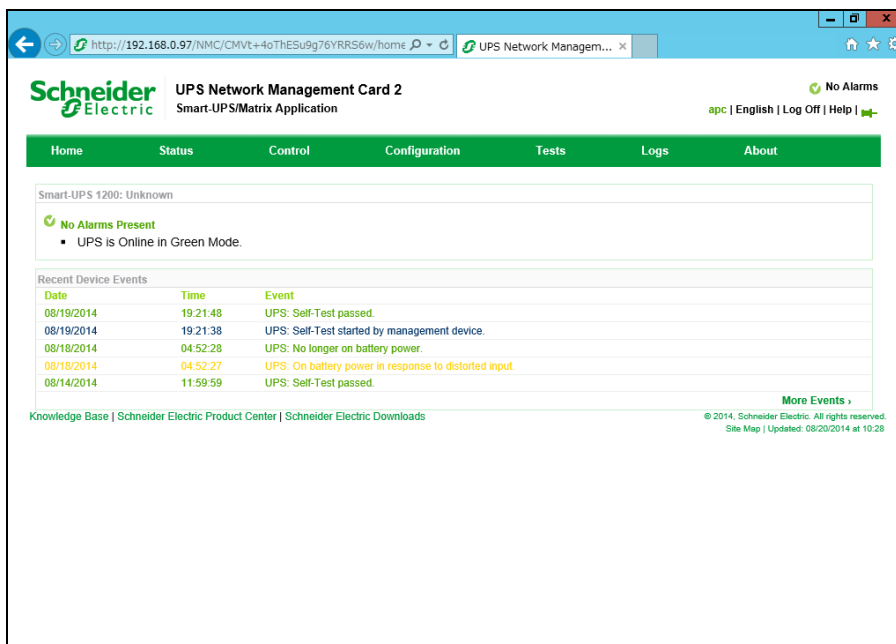
(xxx.xxx.xxx.xxx は、接続するNMCのIPアドレスを入力してください)



3. 下記ログイン画面が表示されたらユーザ名とパスワードに「apc」を入力して、「Log On」ボタンをクリックして、ログインします。



4. 下記ホーム画面が出力できれば、NMCのIPアドレス設定確認は完了です。



UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

No Alarms Present  
apc | English | Log Off | Help

Home Status Control Configuration Tests Logs About

Smart-UPS 1200: Unknown

No Alarms Present  
• UPS is Online in Green Mode.

Recent Device Events

| Date       | Time     | Event                                                 |
|------------|----------|-------------------------------------------------------|
| 08/19/2014 | 19:21:48 | UPS: Self-Test passed.                                |
| 08/19/2014 | 19:21:38 | UPS: Self-Test started by management device.          |
| 08/18/2014 | 04:52:28 | UPS: No longer on battery power.                      |
| 08/18/2014 | 04:52:27 | UPS: On battery power in response to distorted input. |
| 08/14/2014 | 11:59:59 | UPS: Self-Test passed.                                |

More Events >

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved.  
Site Map | Updated: 08/20/2014 at 10:28

## 6. 機能

NMC の管理インターフェイスには Web ブラウザから「NMC の IP アドレス」にアクセス、または UPS 管理ソフト「PowerChute Network Shutdown」よりアクセスすることができます。

NMC の管理インターフェイスにアクセスできない場合は、「5.2 章」を参考に IP アドレスの設定をご確認ください。

NMC の管理インターフェイスは次のような階層構造になっております。

|            |                                           |
|------------|-------------------------------------------|
| NMC ログイン画面 | ----- Home(6.1 章「Home」)                   |
|            | ----- Status(6.2 章「Status」)               |
|            | ----- Control(6.3 章「Control」)             |
|            | ----- Configuration(6.4 章「Configuration」) |
|            | ----- Tests(6.5 章「Tests」)                 |
|            | ----- Logs(6.6 章「Logs」)                   |
|            | ----- About(6.7 章「About」)                 |

### 6.1 Home

Home では、現在発生中の UPS のアラームと最近発生したイベントログを確認することができます。

The screenshot shows the 'Home' page of the Schneider Electric UPS Network Management Card 2. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The status is 'Smart-UPS 1200: Unknown' and 'No Alarms Present'. A table of 'Recent Device Events' is displayed with the following data:

| Date       | Time     | Event                                                 |
|------------|----------|-------------------------------------------------------|
| 08/19/2014 | 19:21:48 | UPS: Self-Test passed.                                |
| 08/19/2014 | 19:21:38 | UPS: Self-Test started by management device.          |
| 08/18/2014 | 04:52:28 | UPS: No longer on battery power.                      |
| 08/18/2014 | 04:52:27 | UPS: On battery power in response to distorted input. |
| 08/14/2014 | 11:59:59 | UPS: Self-Test passed.                                |

[Home の表示項目]

以下のアイコンが現在の UPS の状態を表示しています。

| アイコン | 状態                                                                                          |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | [アラームなし]: 現在アラームは何も発生していません。<br>UPS と NMC は正常に機能しています。                                      |
|      | [警告]: 処置を必要とするアラームが発生しています。<br>アラームの内容を確認し、問題を解決してください。<br>問題を放置した場合、データや機器が損傷を受けるおそれがあります。 |
|      | [致命的]: 直ちに対処を要する重大な障害が発生しています。                                                              |

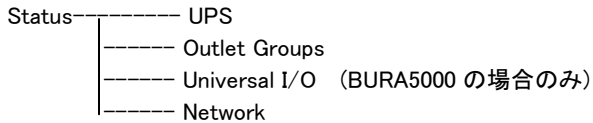
Home 画面に限らず、全ての画面の右隅上に同じアイコンによって UPS のステータスが表示されます。

[致命的] または [警告] のアラームが存在する場合、発生しているアラームの個数も表示されます。全てのイベントログを表示するには、[More Events] をクリックします。

## 6.2 Status

Status では現在の UPS とネットワークのステータスを確認することができます。

[Status の設定項目]



### 6.2.1 UPS

UPS の負荷、バッテリー充電、電圧、および他の役立つ情報が表示されます。

The screenshot shows the 'Status' page of the Schneider Electric UPS Network Management Card 2. The page title is 'UPS Status Smart-UPS 1200'. The interface includes a navigation menu with options: Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The main content area displays the following information:

- Last Battery Transfer:** UPS battery test
- Battery Temperature:** 24.6°C
- Runtime Remaining:** 2hr 6min 54sec
- UPS Input:**
  - Input Voltage: 99.8 VAC @ 50.0 Hz
- UPS Output:**
  - Output Voltage: 99.7 VAC @ 50.0 Hz
  - Load Current: 0.0 Amps
  - Output VA: 0.0 %
  - Output Watts: 0.0 %
  - Output Efficiency: load too low
  - Output Energy Usage: 63.86 kWh
- Battery Status:**
  - State of Charge: 100.0 %
  - Battery Voltage: 40.9 VDC

At the bottom of the page, there is a footer with the text: '© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 09/20/2014 at 10:30'.

| 項目                    | 説明                                                 |
|-----------------------|----------------------------------------------------|
| Last Battery Transfer | 前回バッテリー動作に切り替わった原因                                 |
| Battery Temperature   | UPS 内部の温度                                          |
| Runtime Remaining     | 現在の負荷機器に UPS がバッテリー給電できる残り時間<br>※表示される時間は目安になります。  |
| <b>UPS Input</b>      |                                                    |
| Input Voltage         | UPS に入力されている AC 入力電圧(VAC)                          |
| <b>UPS Output</b>     |                                                    |
| Output Voltage        | UPS がその負荷機器に供給している AC 電圧 (VAC)                     |
| Load Current          | UPS が負荷機器に供給する電流(Amp)                              |
| Output VA             | UPS が供給可能な皮相電力に対して負荷機器に出力される皮相電力の比率                |
| Output Watts          | UPS が供給可能な有効電力に対して負荷機器に出力される有効電力の比率                |
| Output Efficiency     | UPS への入力電力に対して負荷機器に直接出力される有効電力の比率                  |
| Output Energy Usage   | UPS が最後にデフォルト値にリセットされたときから現在までに負荷機器によって実際に使用された電力量 |
| <b>Battery Status</b> |                                                    |
| State of Charge       | 接続された機器に供給できる電力量。UPS バッテリー容量の割合で表す。                |
| Battery Voltage       | バッテリーの DC 電圧                                       |

## 6.2.2 Outlet Groups

UPS のすべてのアウトレットグループについての状態が表示されます。

The screenshot shows the 'Outlet Group Status' section of the UPS Network Management Card 2 interface. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application' and it indicates 'No Alarms'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The main content area displays a table with the following data:

| Group                   | State |
|-------------------------|-------|
| Group 1: Outlet Group 1 | On    |
| Group 2: Outlet Group 2 | On    |

## 6.2.3 Universal I/O (BURA5000 の場合のみ)

各センサーの状態が表示されます。

The screenshot shows the 'Temperature & Humidity' section of the UPS Network Management Card 2 interface. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application' and it indicates 'No Alarms'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The main content area displays a table with the following data:

| Name          | Alarm Status | Temperature | Humidity      |
|---------------|--------------|-------------|---------------|
| Port 1 Temp 1 | Normal       | 22.0° C     | Not Available |

Below the table, there are sections for 'Input Contacts' (No integrated input contacts detected), 'Output Relay' (No integrated output relays detected), and 'Recent Environmental Events'. The 'Recent Environmental Events' section shows a table with the following data:

| Date       | Time     | Event                                                                                                                                     |
|------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 08/21/2014 | 10:37:23 | Environment: Restored the local network management interface-to-integrated Environmental Monitor (Universal I/O at Port 1) communication. |

At the bottom of the page, there is a 'More Events' link. The footer contains the text: 'Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads' and '© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/21/2014 at 11:28'.

[Temperature&Humidity]

各センサーの名前、アラームの状態、温度(湿度は未サポート)が表示されます。センサーの名前をクリックして名前と場所を編集したり、そのしきい値とヒステリシスを設定します。

[Input Contacts]

未サポートの項目です。

[Output Relay]


未サポートの項目です。

[Recent Environmental Events]


環境モニターに関連するイベントが表示されます。例えば、温度のしきい値違反や環境モニター入力接点の障害に関する警告メッセージなどです。[More Events] リンクをクリックして、発生したイベントのリストを表示します。

## 6.2.4 Network

ネットワーク画面に IP アドレス、ドメイン名、イーサネットポートの設定が示されます。上記のフィールドに関する基本詳細については、「Configuration > Network」を参照してください。



**UPS Network Management Card 2**  
Smart-UPS/Matrix Application

✔ No Alarms  
apc | English | Log Off | Help | 

Home
Status
Control
Configuration
Tests
Logs
About

**Current IPv4 Settings**

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| System IP:       | 192.168.0.97      |
| Subnet Mask:     | 255.255.255.0     |
| Default Gateway: | 192.168.0.99      |
| MAC Address:     | 00 C0 B7 D8 7C 2E |
| Mode:            | Manual            |

**Current IPv6 Settings**

| Type | IP Address               | Prefix Length |
|------|--------------------------|---------------|
| Auto | FE80::2C0:B7FF:FED8:7C2E | 64            |

**Domain Name System Status**

|                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| Active Primary DNS Server:      | 0.0.0.0     |
| Active Secondary DNS Server:    | 0.0.0.0     |
| Active Host Name:               | hitachi.com |
| Active Domain Name (IPv4/IPv6): | hitachi.com |
| Active Domain Name (IPv6):      | example.com |

**Ethernet Port Speed**

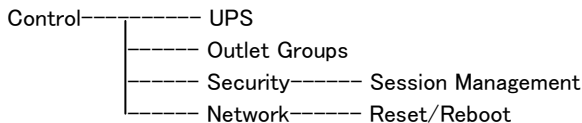
|                |                 |
|----------------|-----------------|
| Current Speed: | 100 Full-Duplex |
|----------------|-----------------|

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads
© 2014, Schneider Electric. All rights reserved.  
Site Map | Updated: 08/20/2014 at 10:31

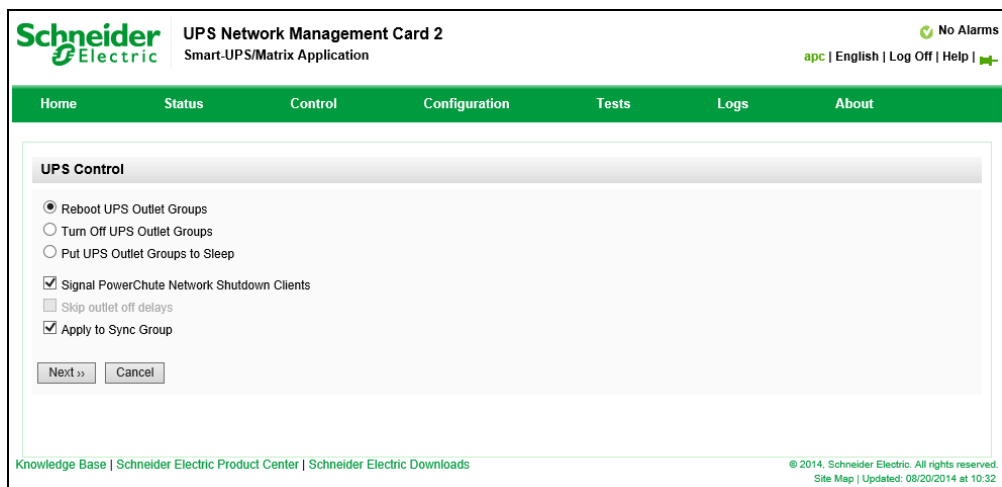
## 6.3 Control

Control では UPS とコンセントを操作できます。

[Control の設定項目]



### 6.3.1 UPS



ラジオボタンのオプションを選択して、[Next] をクリックすると、次の画面に実行されるアクションの概要が表示されます。[Apply] をクリックしてそのアクションを続行します。

このアクションは UPS が BURA5000 であるかどうかによって変わります。以下の 2 つの表にこれらを分けて示します。

また、チェックボックスの各機能については下記の表に示します。

#### BURA5000 の場合

| アクション             | 説明                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Reboot UPS        | UPS を次の方法で再起動します。<br>アクションのタイミングと待機時間についての詳細が表示されます。<br>・シャットダウン待機時間後に UPS の電源をオフにします。<br>・UPS のバッテリー容量が[Minimum Battery Capacity]の設定値まで充電された後に、UPS の電源をオンにします (Configuration > Shutdown 参照)。                                |
| Turn UPS Off      | UPS の電源がシャットダウン待機時間なしで直ちにオフになります。UPS の電源は再度オンにするまでオフのままです。                                                                                                                                                                   |
| Put UPS to Sleep  | UPS をスリープモードに切り替え、指定した時間 UPS の出力をオフにします。<br>[Next]をクリックして、タイミングと待機時間についての詳細を表示します。<br>[Shutdown Delay] で指定した時間経過後にスリープ状態に切り替えます。その後、[Sleep Time] と[Return Delay] の合計の時間の間スリープ状態を維持した後に出力を開始します (Configuration > Shutdown 参照) |
| Put UPS in Bypass | UPS をバイパスモードに切り替えます。                                                                                                                                                                                                         |

|                           |                                                          |
|---------------------------|----------------------------------------------------------|
| Turn UPS On               | UPS の電源を入れます。<br>この項目は UPS が電源オフの場合のみ選択でき、この項目以外表示されません。 |
| Return UPS<br>from Bypass | UPS のバイパスモードを解除します。<br>この項目は UPS がバイパスモードの時のみ選択できます。     |

## BURA5000 以外の場合

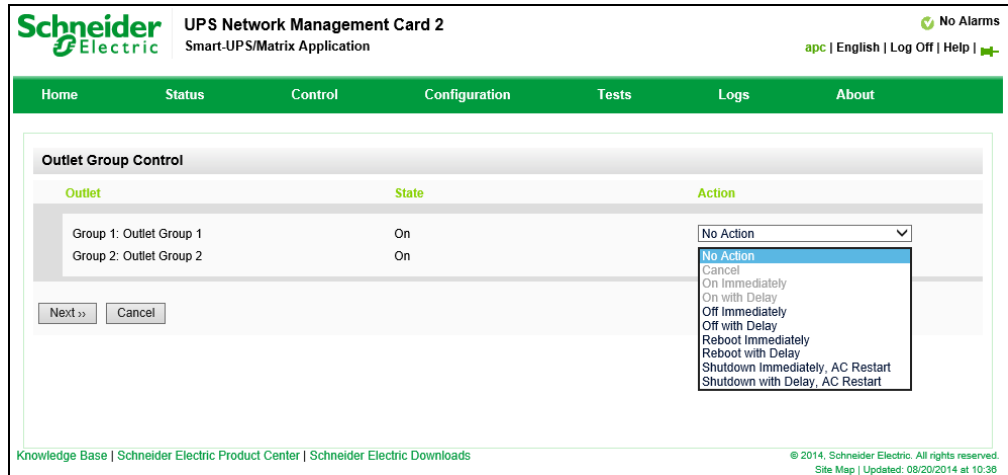
| アクション                                | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Reboot UPS<br>Outlet Groups          | すべてのコンセントグループに対する AC 再起動コマンドを適用 (Configuration > Outlet Group を参照)。<br>アクションのタイミングと待機時間についての詳細が表示されます。<br>Outlet Group の電源をオフした後に、Main Group のある UPS の場合は Main Group をオフにします。アクションが適用されたコンセントグループはいずれも、[Reboot Duration] と [Power On Delay] で設定された秒数の間待機します。その後で、コンセントグループは、UPS の入力電源が使用できるようになった時点でオンになるか、AC 商用電源が使用できるようになるまで待機します。 |
| Turn Off UPS<br>Outlet Groups        | Outlet Group の出力電源をオフにした後に、存在する場合は、Main Group の電源をオフにします。アクションが適用されたコンセントグループはいずれも、Outlet Group の電源が再度オンになるまで、オフのままとなります。<br>アクションのタイミングと待機時間についての詳細が表示されます。                                                                                                                                                                          |
| Put UPS<br>Outlet Groups<br>To Sleep | コンセントグループは [Power Off Delay] で設定された時間待機してからコンセントグループの出力をオフにして、UPS をスリープモードに切り替えます。その後、[Sleep Time] および [Power On Delay] の 2 つの待機時間の後に UPS はコンセントグループの出力をオンにします。(Configuration > Shutdown 参照)<br>アクションのタイミングと待機時間についての詳細が表示されます。                                                                                                       |
| Turn On UPS<br>Outlet Groups         | UPS およびコンセントグループの電源を入れます。<br>この項目は UPS の電源がオフの場合のみ選択できます。                                                                                                                                                                                                                                                                             |

## チェックボックスの機能説明

| 項目                                               | 説明                                                                                          |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| Signal PowerChute<br>Network Shutdown<br>Clients | PCNS によって保護されているサーバが UPS に登録されている場合に操作できます。<br>チェックすることで上記アクション時にサーバのシャットダウンを連動して行うようになります。 |
| Skip outlet off delays                           | PCNS と連動している場合操作できません。<br>またこの機能はサポートしていません。                                                |
| Skip outlet on delays                            | [Power On Delay] の設定を無視して直ちにコンセントグループの電源を入れます。                                              |

### 6.3.2 Outlet Groups

ここでは、UPS デバイス本体とは独立に個々のコンセントグループの電源をオン、オフ、再起動することができます。



各アクションは現在のコンセントグループの状態によって実施可能かどうか異なります。アクションの詳細は下記表のとおりです。

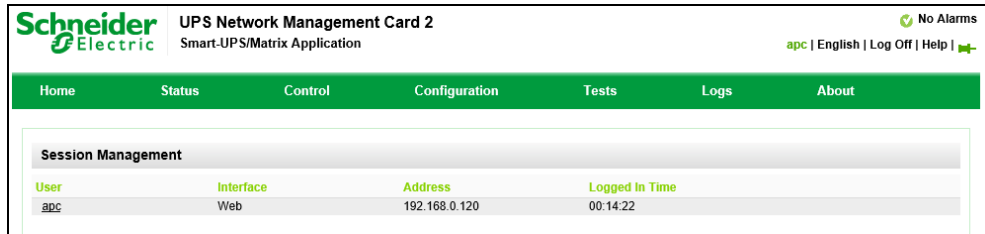
| 項目                               | 説明                                                                                                                    |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>現在のコンセントグループの状態が On の場合</b>   |                                                                                                                       |
| Off Immediately                  | 対象のコンセントグループが直ちにオフになります。                                                                                              |
| Off with Delay                   | [Power Off Delay]の時間待機後<br>対象のコンセントグループがオフになります。                                                                      |
| Reboot Immediately               | 対象のコンセントグループが直ちにオフになります。<br>その後、[Reboot Duration]と[Power On Delay]の時間待機後にオンになります。                                     |
| Reboot with Delay                | [Power Off Delay]の時間待機後、対象のコンセントグループがオフになります。その後、[Reboot Duration]と[Power On Delay]の時間待機後にオンになります。                    |
| Shutdown Immediately, AC Restart | 対象のコンセントグループが直ちにオフになります。<br>その後 UPS の入力電源が正常である場合は、[Reboot Duration]と [Power On Delay]の時間待機後にオンになります。                 |
| Shutdown with Delay, AC Restart  | [Power Off Delay]の時間待機後、対象のコンセントグループがオフになります。その後 UPS の入力電源が正常である場合は、[Reboot Duration]と[Power On Delay]の時間待機後にオンになります。 |
| <b>現在のコンセントグループの状態が Off の場合</b>  |                                                                                                                       |
| On Immediately                   | 対象のコンセントグループが直ちにオンになります。                                                                                              |
| On with Delay                    | [Power On Delay]の時間待機後<br>対象のコンセントグループがオンになります。                                                                       |



### 6.3.3 Security

#### -Session Management

この画面には、ログオンしたユーザについての詳細、ユーザが使用しているインターフェイス（例、Web、telnet）、IP アドレス、ログインしている期間などが表示されます。

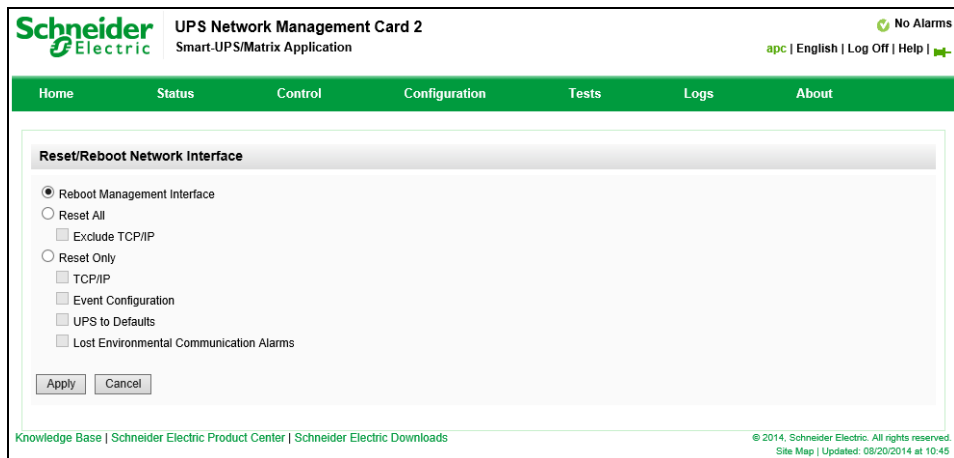


現在操作しているアカウントに Administrator 権限がある場合は、名前をクリックすることで現在 NMC にログインしているユーザ情報を確認することができます。また、[Terminate Session] ボタンを押下することで、対象のユーザのセッションを切断することができます。

### 6.3.4 Network

#### -Reset/Reboot

リセット、リブートに関する動作を実行します。



| アクション                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Reboot Management Interface | NMC の再起動を行います。実行後強制的にログアウトします。<br>また、再起動中は NMC との通信はできなくなります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Reset All                   | 全ての設定値をリセットします。<br>Exclude TCP/IP:チェックをしている場合<br>“Configuration>TCP/IP”の設定値はリセット対象外になります。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Reset Only                  | チェックした項目のみをリセットします。<br>何もチェックしない場合は何もしません。<br>TCP/IP: “Configuration>TCP/IP”の設定をデフォルトの DHCP に、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが全て 0.0.0.0 にリセットします。<br>Event Configuration: “Configuration > Event Actions”の設定値をデフォルト値にリセットします。<br>UPS to Defaults: ネットワーク設定はそのままにして UPS の設定のみをデフォルト値にリセットします。<br>Lost Environmental Communication Alarms:<br>本項目は未サポートです。チェックを入れないでください。 |

## 6.4 Configuration

Configuration では UPS/NMC の設定を変更することができます。

[Configuration の設定項目]

|               |       |                            |
|---------------|-------|----------------------------|
| Configuration | ----- | Outlet Groups              |
|               | ----- | Power Settings             |
|               | ----- | Shutdown                   |
|               | ----- | UPS                        |
|               | ----- | Self-Test Schedule         |
|               | ----- | Scheduling                 |
|               | ----- | ----- UPS                  |
|               | ----- | ----- Outlet Groups        |
|               | ----- | Firmware Update            |
|               | ----- | PowerChute Clients         |
|               | ----- | Sync Control               |
|               | ----- | Third Party Support        |
|               | ----- | ----- Energy Wise          |
|               | ----- | Security                   |
|               | ----- | ----- [Security の項を参照]     |
|               | ----- | Network                    |
|               | ----- | ----- [Network の項を参照]      |
|               | ----- | Notification               |
|               | ----- | ----- [Notification の項を参照] |
|               | ----- | General                    |
|               | ----- | ----- [General の項を参照]      |
|               | ----- | Logs                       |
|               | ----- | ----- [Logs の項を参照]         |

### 6.4.1 Outlet Groups

コンセントグループ名をクリックすることで設定を行うことができます。

The screenshot shows the web interface for the UPS Network Management Card 2. The page title is "UPS Network Management Card 2" and the subtitle is "Smart-UPS/Matrix Application". The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The "Configuration" menu is active, and the "Outlet Group Settings" page is displayed. The table shows two outlet groups with their respective settings.

| Group                                   | Power Off Delay (sec) | Reboot Duration (sec) | Power On Delay (sec) |
|-----------------------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| <a href="#">Group 1: Outlet Group 1</a> | 120                   | 8                     | 0                    |
| <a href="#">Group 2: Outlet Group 2</a> | 120                   | 8                     | 0                    |

Footer information: Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads | © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 10:47

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

No Alarms  
apc | English | Log Off | Help | ↗

Home   Status   Control   Configuration   Tests   Logs   About

### Outlet Settings for Group 1: Outlet Group 1

Name:  16 ASCII characters allowed.

**Sequencing**

Power Off Delay:  seconds  
 Reboot Duration:  seconds  
 Power On Delay:  seconds  
 Min Return Runtime:  seconds

**Load Shedding**

Turn Off Outlet Group when:

power failure lasts longer than  seconds  
 UPS runtime remaining is less than  seconds  
 UPS is overloaded  
 Skip outlet off delay  
 Stay off after power returns

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved.  
Site Map | Updated: 08/20/2014 at 10:49

| 項目                           | 説明                                                                                             |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name                         | コンセントグループ名。ASCII16 文字入力可能です。                                                                   |
| <b>Sequencing</b>            |                                                                                                |
| Power Off Delay              | このコンセントグループがオンである場合、コンセントグループはこの時間待機してからオフに切り替わります。ここで異なる時間を各コンセントに設定して電源がオフになる順番を指定することができます。 |
| Reboot Duration              | コンセントはこの時間待機してから再起動します。                                                                        |
| Power On Delay               | このコンセントグループがオフである場合、コンセントグループはこの時間待機してからオンに切り替わります。ここで異なる時間を各コンセントに設定して、電源オンに順序を付けることができます。    |
| Min Return Runtime           | UPS の入力電源が復帰した際に、バッテリー持続時間がこの設定値以上になるまで待機します。                                                  |
| <b>Load Shedding</b>         |                                                                                                |
| Turn Off Outlet Group when   | 下記のチェックを入れた項目の条件を満たしたときコンセントグループをオフにします。                                                       |
|                              | power failure lasts longer than [X] seconds:<br>[X]秒以上バッテリー動作が継続したとき                           |
|                              | UPS runtime remaining is less than [X] seconds:<br>UPS の持続可能時間が[X]秒以下のとき                       |
|                              | UPS is overloaded:<br>UPS が過負荷状態になったとき                                                         |
| Skip outlet off delay        | [Power Off Delay]を待たずにコンセントグループをオフします。                                                         |
| Stay off after power returns | UPS の入力電源が復帰しても電源をオフのままにします。                                                                   |

## 6.4.2 Power Settings

出力電圧に関して設定することができます。  
本項目は BURA5000 とそれ以外で項目が異なります。

The screenshot shows the 'Power Settings' configuration page in the Schneider Electric UPS Network Management Card 2 interface. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The 'Power Settings' section contains the following fields:

- Rated Output Voltage: 100 VAC
- Keep the output voltage within this range:
- Output Upper Limit: 110 VAC [108 - 114]
- Output Lower Limit: 90 VAC [86 - 92]
- Sensitivity: Normal (dropdown menu)

Buttons for 'Apply' and 'Cancel' are located at the bottom of the settings area. The footer includes 'Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads' and '© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 10:53'.

### BURA5000 の場合

| 項目                   | 説明                                  |
|----------------------|-------------------------------------|
| Rated Output Voltage | UPS が給電する電圧                         |
| Bypass Upper Voltage | バイパスモードでいる上限電圧<br>この値を超えると出力を停止します。 |
| Bypass Lower Voltage | バイパスモードでいる下限電圧<br>この値を超えると出力を停止します。 |
| Output Frequency     | Auto から変更しないでください。                  |

※PCNS と連動時はバイパスモードに切り替わる際にサーバをシャットダウンさせることが可能です。  
設定方法は「PowerChute Network Shutdown 補足説明書」をご参照ください。

### BURA5000 以外の場合

| 項目                   | 説明                                      |
|----------------------|-----------------------------------------|
| Rated Output Voltage | UPS が給電する電圧                             |
| Output Upper Limit   | 出力上限電圧                                  |
| Output Lower Limit   | 出力下限電圧                                  |
| Sensitivity          | 入力電源の状態によって UPS がバッテリー動作に切り替わる感度を指定する項目 |

※バッテリー切替え値は変更できるが、その場合は接続する機器の動作保証値を確認し上限／下限の値の範囲で指定する100V±10%の機器の場合、90v未満・110vを超える値に設定しないこと。

### 6.4.3 Shutdown

UPS シャットダウンに関する設定を行えます。  
本項目は BURA5000 とそれ以外で項目が異なります。

The screenshot shows the 'Shutdown' configuration page in the Schneider Electric UPS Network Management Card 2 interface. The page is titled 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application' and includes a 'No Alarms' indicator. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The 'Shutdown' section is expanded, showing the following settings:

- Start of Shutdown**
  - Low Battery Duration: 3 minutes [0 - 30]
  - Maximum Required Delay: 2 minutes
  - Basic Signaling Shutdown:  Enable
  - Basic Low Battery Duration: 120 seconds [120 - 1800]
- Duration of Shutdown**
  - Sleep Time: 0.0 hours [0.0 - 336.0]
- Sync Control Shutdown**
  - Shutdown Delay: 120 seconds [0 - 600]
  - Return Delay: 100 seconds [0 - 300]
- PowerChute Shutdown Parameters**
  - Maximum Required Delay:  Force negotiation
  - On-Battery Shutdown Behavior:
    - Restart when power is restored
    - Turn off and stay off
  - User Name: apc
  - Authentication Phrase: [Redacted]

Buttons for 'Apply' and 'Cancel' are located at the bottom of the configuration area.

#### BURA5000 の場合

| 項目                       | 説明                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Start of Shutdown</b> |                                                                                                                                                                                               |
| Low Battery Duration     | UPS がバッテリー動作中に、バッテリー残り時間がこの値以下になった場合に UPS の電源オフを開始します。<br>また、この値は UPS の電源オフになるまでの待機時間に下記の影響します。<br><br>オフまでの待機時間=[Maximum Required Delay]か[Low Battery Duration]の大きい方 + 2分 + [Shutdown Delay] |
| Shutdown Delay           | UPS がオフになる動作に入ってからオフになるまでの時間は上記の値で決定します。この値はその一部を指定します。                                                                                                                                       |
| Maximum Required Delay   | UPS がオフになる動作に入ってからオフになるまでの時間は上記の値で決定します。この値はその一部を指定します。                                                                                                                                       |
| Basic Signaling Shutdown | 未サポート項目です。変更しないでください。                                                                                                                                                                         |

| Controlled Early shutdown                                             |                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Shutdown the UPS (after the shutdown delay) when on battery and       | バッテリー動作中に下記項目のチェックを入れたものに関してその条件を満たした場合に UPS をシャットダウンします。                                                                                          |
|                                                                       | time on battery lasts longer than [X] minutes:<br>バッテリー動作が[X]分を経過したとき                                                                              |
|                                                                       | UPS runtime remaining is less than [X] minutes:<br>UPS のバッテリー持続時間が[X]分を下回ったとき                                                                      |
|                                                                       | Battery Capacity Less Than [X] %:<br>バッテリー要領が[X] %を下回ったとき                                                                                          |
| The load percentage on the UPS is less than [X] %:<br>負荷が[X] %を下回ったとき |                                                                                                                                                    |
| Stay off after power returns                                          | UPS の入力電源が復旧しても UPS の電源がオンしないようになる                                                                                                                 |
| Duration of shutdown                                                  |                                                                                                                                                    |
| Sleep Time                                                            | UPS が出力をオフにする時間を指定します。<br>“Control > UPS”の項目で使用されます。                                                                                               |
| End of shutdown                                                       |                                                                                                                                                    |
| Minimum Battery Capacity                                              | バッテリー容量がこの値を下回る場合、UPS はパワーオフのままになります。                                                                                                              |
| Return Delay                                                          | UPS の入力電源が復旧した際に UPS の電源がオンになるまでの待機時間です。                                                                                                           |
| PowerChute Shutdown Parameters                                        |                                                                                                                                                    |
| Maximum Required Delay                                                | UPS が電源オフになるまでの時間に関わる値です。<br>自動設定される値で変更できません。                                                                                                     |
| On-Battery Shutdown Behavior                                          | PCNS からの命令で UPS の電源がオフになった後、UPS の入力電源が正常に戻った時点の動作を指定します。<br>Restart when power is restored:UPS を自動で電源オンする<br>Turn off and stay off:UPS をオフのままにする   |
| User Name                                                             | ここで指定した“User Name”で PCNS と NMC を連動させます。<br>PCNS のセットアップ中に NMC を登録する際に入力する“User Name”と同じである必要があります。                                                 |
| Authentication Phrase                                                 | PCNS との通信の MD5(復号化)認証中に使用されるフレーズを設定します。15~32 文字の ASCII 文字からなり大文字と小文字の区別があります。管理者用のデフォルトの設定は「admin user phrase」です。<br>PCNS の認証フレーズと同じフレーズを設定してください。 |

## BURA5000 以外の場合

| 項目                         | 説明                                                                    |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| Start of Shutdown          |                                                                       |
| Low Battery Duration       | UPS がバッテリー動作時、バッテリー持続時間がこの値以下になった場合、[Shutdown Delay]後 UPS の電源をオフにします。 |
| Maximum Required Delay     | BURA5000 以外の UPS 接続時は使用しない値です。                                        |
| Basic Signaling Shutdown   | 未サポート項目です。変更しないでください。                                                 |
| Basic Low Battery Duration | 未サポート項目です。変更しないでください。                                                 |
| Duration of Shutdown       |                                                                       |
| Sleep Time                 | “Control > UPS”の”Put UPS Outlet Groups to Sleep”を実行時のスリープ時間を設定できます。   |
| Sync Control Shutdown      |                                                                       |
| Shutdown Delay             | BURA5000 以外の UPS 接続時は使用しない値です。                                        |
| Return Delay               | BURA5000 以外の UPS 接続時は使用しない値です。                                        |

### PowerChute Shutdown Parameters

|                              |                                                                                                                                                        |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Maximum Required Delay       | UPS が電源オフになるまでの時間に関わる値です。<br>自動設定される値で変更できません。                                                                                                         |
| On-Battery Shutdown Behavior | PCNS からの命令で UPS の電源がオフになった後、UPS の入力電源が正常に戻った時点の動作を指定します。<br>Restart when power is restored:UPS を自動で電源オンする<br>Turn off and stay off:UPS をオフのままにする       |
| User Name                    | ここで指定した“User Name”で PCNS と NMC を連動させます。<br>PCNS のセットアップ中に NMC を登録する際に入力する“User Name”と同じである必要があります。                                                     |
| Authentication Phrase        | PCNS との通信の MD5(復号化)認証中に使用されるフレーズを設定します。15~32 文字の ASCII 文字からなり大文字と小文字の区別があります。<br>管理者用のデフォルトの設定は「admin user phrase」です。<br>PCNS の認証フレーズと同じフレーズを設定してください。 |

## 6.4.4 UPS

UPS のアラームや LCD 表示の設定ができます。

The screenshot shows the 'UPS Network Management Card 2' interface. The 'UPS' configuration section is active, displaying the following settings:

- UPS Name: APCUPS (16 ASCII characters allowed)
- Audible Alarm:  Enable,  Locked
- LCD Display:  Enabled,  Locked
- LCD Language Preference: English
- Last Battery Replacement: March 2014

Buttons for 'Apply' and 'Cancel' are visible at the bottom of the configuration area.

| 項目                       | 説明                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| UPS Name                 | UPS の名前。ASCII16 文字入力可能です。                                                                                                                                                                            |
| UPS Position             | UPS のタイプ。BURA5000 のみ設定可能です。                                                                                                                                                                          |
| Audible Alarm            | アラーム音の有無を設定できます。<br>BURA5000 の場合は鳴動条件を指定できます。                                                                                                                                                        |
| Last Battery Replacement | 前回バッテリーを交換した年月。                                                                                                                                                                                      |
| External Batteries       | 拡張バッテリーの数。<br>・BURA5000 の場合:<br>拡張した際手動で編集する必要があります。<br>この値は 1 からカウントします。<br>・BURA5000 以外の場合:<br>拡張した際自動で表示されます。<br>この値は 0 からカウントします。<br>(例)バッテリーが 1 つ拡張された場合<br>BURA5000 は“2”、BURA5000 以外は“1”となります。 |
| LCD Display              | LCD 操作の有効無効を設定できます。                                                                                                                                                                                  |
| LCD Language Preference  | LCD の表示言語を設定できます。                                                                                                                                                                                    |

## 6.4.5 Self-Test Schedule

UPS がセルフテストを実行するスケジュールを指定できます。

| 項目                                            | 説明                                                                    |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| Never                                         | セルフテストを実行しません。                                                        |
| Every 7 Days                                  | UPS 起動時と起動時から 7 日間ごとにセルフテストを実行します。                                    |
| Every 14 Days                                 | UPS 起動時と起動時から 14 日間ごとにセルフテストを実行します。                                   |
| UPS Startup and every 7 Days since last test  | UPS 起動時または前回手動でセルフテストを実行してから 7 日間ごとにセルフテストを実行します。(BURA5000 以外のみ設定可能)  |
| UPS Startup and every 14 Days since last test | UPS 起動時または前回手動でセルフテストを実行してから 14 日間ごとにセルフテストを実行します。(BURA5000 以外のみ設定可能) |
| UPS Startup                                   | UPS 起動時のみセルフテストを実行します。                                                |

## 6.4.6 Scheduling

UPS の電源オフ、電源オンのスケジュールを設定します。

BURA5000 以外の場合、UPS だけでなくコンセントグループの設定が可能です。

それぞれ”Configuration > Scheduling > UPS ”または”Configuration > Scheduling > Outlet Groups ”で設定画面へ移動できます。またどちらの設定もほぼ同じ項目になりますので合わせて記述します。



[UPS Scheduling] または [Switched Outlet Group Scheduling]

ここでは設定したスケジュールが一覧表示されます。再編集したい場合はスケジュール名をクリックして編集してください。

[Configure Scheduled Shutdown]

スケジュールの種類を指定します。下記のいずれかを選択後、[Next]ボタンを押下することでスケジュールの詳細を設定する画面に移動します。

| 項目                                                    | 説明                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| One-time Shutdown                                     | 1 回だけのスケジュール。<br>スケジュール実行時には同じページ上部の [UPS Scheduling] または [Switched Outlet Group Scheduling] からエントリが削除されます。 |
| Daily Shutdown                                        | 1 日ごとのスケジュール。<br>毎日エントリされたスケジュールが実行されます。                                                                    |
| Weekly Shutdown<br>[Once a week or every 2-4-8 weeks] | 週単位のスケジュール。<br>1、2、4、8 週間ごとにエントリされたスケジュールを実行します。                                                            |

The screenshot shows the 'Schedule a One-Time Shutdown' configuration page in the Schneider Electric UPS Network Management Card 2 interface. The page has a green header with navigation tabs: Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The main content area is titled 'Schedule a One-Time Shutdown' and contains the following fields and options:

- Status:  Enable
- Name:
- Shutdown On:  /  at  :
- Turn Back On:
  - Never
  - Immediately
  - /  at  :
- Outlet Group 1
- Outlet Group 2
- Signal PowerChute Network Shutdown Clients

At the bottom of the form are 'Apply' and 'Cancel' buttons. Below the form, a note states: 'The turn on time will be rounded to the nearest six minute interval. The maximum sleep time for this UPS is 336.0 hours.' The footer includes 'Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads' and '© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 11:00'.

| 項目          | 説明                                                                                     |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| Status      | このスケジュールを実行するかどうかを設定します。                                                               |
| Name        | このスケジュールの名前を設定します。                                                                     |
| Shutdown On | このスケジュールを実行する日時を指定します。<br>設定できる値は前画面の [Configure Scheduled Shutdown] で設定した項目によって異なります。 |

|                                            |                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Turn Back On                               | UPS の電源がオフになった後に起動する日時を指定します。<br>[Never]:<br>起動しません。<br>[Immediately]:<br>即座に起動します。<br>日時指定:<br>指定時間に起動します。<br>設定できる値は前画面の[Configure Scheduled Shutdown]で設定した項目によって異なります。 |
| Outlet Group                               | スケジュールの対象コンセントグループを指定します。<br>コンセントグループのスケジュール設定時のみ指定できます。                                                                                                                 |
| Signal PowerChute Network Shutdown Clients | この項目は必ずチェックを入れてください。<br>PCNS で保護しているシステム装置に対して、シャットダウンするように信号を送信します。<br>これによってスケジュールによって UPS の電源がオフしてもシステム装置は安全にシャットダウンすることができます。                                         |

#### 6.4.7 Firmware update

本項目は未サポートです。

#### 6.4.8 PowerChute Clients

UPS と連動する PCNS クライアントの登録、削除ができます。

PCNS をシステム装置でアンインストールした場合、こちらで削除をしてください。また、PCNS をインストール、またはセットアップする際に自動登録されます。

ここでの手動登録は行わないでください。

The screenshot shows the 'PowerChute Network Shutdown Clients' section of the UPS Network Management Card 2 interface. The page header includes the Schneider Electric logo and the application name. The navigation bar has tabs for Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The main content area lists several registered clients with their IP addresses and group assignments:

| IP Address    | Group   |
|---------------|---------|
| 192.168.0.58  | Group 1 |
| 192.168.0.67  | Group 1 |
| 192.168.0.177 | Group 1 |
| 192.168.1.177 | Main    |
| 192.168.0.191 | Group 1 |
| 192.168.0.200 | Group 1 |
| 192.168.0.66  | Main    |

An 'Add Client' button is located below the list. The footer contains copyright information for Schneider Electric and the date of the last update: © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 11:07.

登録の削除方法:

登録されている IP アドレスをクリックします。ページ移動後、[Delete Client]ボタンを押下すれば完了です。

### 6.4.9 Sync Control

本項目は未サポートです。

### 6.4.10 Third Party Support

本項目は未サポートです。

### 6.4.11 Universal I/O

BURA5000 の場合のみ表示される項目です。

ここでは、各センサの名前が表示され、センサの名前と場所の編集や、そのしきい値を設定することができます。

#### ■Temperature&Humidity

ここで設定できる項目は”Status > Universal I/O”と同じです。そちらを参照してください。

#### ■Input Contacts

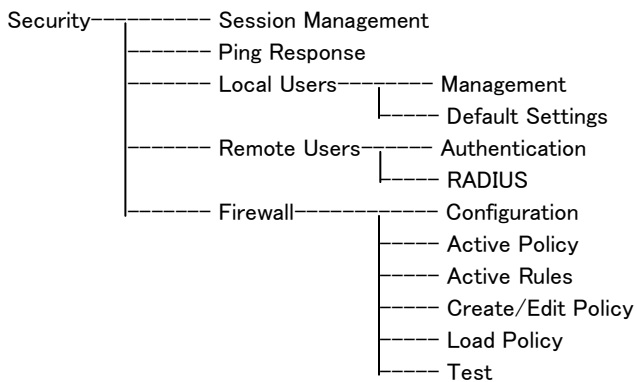
未サポートの項目です。

#### ■Output Relay

未サポートの項目です。

### 6.4.12 Security

[Security の設定項目]



## ■Session Management

セッションに関する設定ができます。

The screenshot shows the 'Session Management' configuration page. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The 'Session Details' section contains two settings: 'Allow Concurrent Logins' with a checked 'Enable' checkbox, and 'Remote Authentication Override' with an unchecked 'Enable' checkbox. There are 'Apply' and 'Cancel' buttons at the bottom of the settings area. The footer includes copyright information for Schneider Electric and a site map link.

| 項目                             | 説明                          |
|--------------------------------|-----------------------------|
| Allow Concurrent Logins        | 複数ユーザの同時ログオンの可否を設定できます。     |
| Remote Authentication Override | 未サポート機能です。<br>チェックを外してください。 |

## ■Ping Response

The screenshot shows the 'Ping Response' configuration page. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The 'Ping Response' section contains one setting: 'IPv4 Ping Response' with a checked 'Enable' checkbox. There are 'Apply' and 'Cancel' buttons at the bottom of the settings area. The footer includes copyright information for Schneider Electric and a site map link.

NMC が Ping に対して応答をするか設定できます。

## ■ Local Users

### -Management

ローカルユーザに関するパスワードや権限などを設定できます。

“User Name”のユーザ名をクリックして既存アカウントを編集するか、“Add User”ボタンをクリックすることで新規アカウントを作成できます。

The screenshot shows the 'UPS Network Management Card 2' interface. At the top, there is a navigation bar with tabs: Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. Below this, there are two main sections: 'Super User Management' and 'General User Management'. Each section contains a table with columns for 'User Name', 'User Type', and 'User Description'. In the 'Super User Management' section, there is one user named 'apc' with the type 'Super User'. In the 'General User Management' section, there are two users: 'device' (Device) and 'readonly' (Read-Only). An 'Add User' button is located at the bottom left of the 'General User Management' section. The footer contains copyright information for Schneider Electric, dated 2014, and a site map update date of 08/20/2014 at 11:29.

#### [Super User Management]

Super User 権限をもつ特殊なアカウントです。Administrator 権限と同じ権限を持ちます。

ユーザ名をクリックすることで設定変更できます。

このアカウントはパスワードの変更は可能ですがアカウント名の変更ができず、削除もできません。

セキュリティの関係上無効にしたい場合は、他アカウント同様“Access”項目の“Enable”のチェックを外して設定適用してください。(後述の項目“Access”を参照してください。)

ただし、無効化する際には必ず先に Administrator 権限のあるアカウントが 1 つ以上あることを確認してからおこなってください。

#### [General User Management]

Super User 権限以外のアカウントの一覧です。ユーザ名をクリックすることで設定変更できます。

#### [Add User]

ユーザアカウントを追加します。

アカウント設定で変更できる項目について説明します。

| 項目                                    | 説明                                                                                                                                                |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Access                                | アクセスの可/不可を設定します。                                                                                                                                  |
| User Name                             | アカウント名を設定します。新規登録時のみ編集可能です。                                                                                                                       |
| Current Password                      | 現在のパスワードを入力します。<br>Super User 権限のアカウントを設定する際に入力する必要があります。                                                                                         |
| New Password                          | 新しいパスワードを設定します。<br>設定には”Confirm Password”も入力する必要があります。                                                                                            |
| Confirm Password                      | 新しいパスワードを設定する際に確認のため<br>New Password の値を入力します。                                                                                                    |
| User Type                             | 権限を設定します。下記の権限から設定します。<br>Administrator:管理者権限<br>Device :ネットワーク関係の項目以外の設定が可能<br>Read-Only :NMC にログインできるが変更できない<br>Network-Only:ネットワーク関係の項目のみ設定が可能 |
| User Description                      | ユーザについての説明を記述できます。                                                                                                                                |
| Session Timeout                       | ユーザからのアクセスがない場合にログオフする時間を設定します。この値を変更した場合、変更内容を適用するにはログオフする必要があります。                                                                               |
| Serial Remote Authentication Override | 未サポート項目です。チェックを入れしないでください。                                                                                                                        |

| User Preferences       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----|---|-----------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------|
| Event Log Color Coding | <p>イベントログに表示されるアラーム関連のテキストを色分けすることができます。システムイベントおよび環境設定への変更に関しては色分けが適用されません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>色</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤</td> <td>[致命的]:<br/>直ちに対処を要する重大な障害が発生しています。</td> </tr> <tr> <td>橙</td> <td>[警告]: 処置を必要とするアラームが発生しています。<br/>アラームの内容を確認し、問題を解決してください。<br/>問題を放置した場合、データや機器が損傷を受けるおそれがあります。</td> </tr> <tr> <td>緑</td> <td>[アラームがクリアされました]:<br/>アラームの原因となっていた状況が解消しました。</td> </tr> <tr> <td>黒</td> <td>[正常]:<br/>現在アラームは何も発生していません。<br/>Network Management Card および接続下のすべてのデバイスは正常に機能しています。</td> </tr> </tbody> </table> | 色 | 説明 | 赤 | [致命的]:<br>直ちに対処を要する重大な障害が発生しています。 | 橙 | [警告]: 処置を必要とするアラームが発生しています。<br>アラームの内容を確認し、問題を解決してください。<br>問題を放置した場合、データや機器が損傷を受けるおそれがあります。 | 緑 | [アラームがクリアされました]:<br>アラームの原因となっていた状況が解消しました。 | 黒 | [正常]:<br>現在アラームは何も発生していません。<br>Network Management Card および接続下のすべてのデバイスは正常に機能しています。 |
| 色                      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| 赤                      | [致命的]:<br>直ちに対処を要する重大な障害が発生しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| 橙                      | [警告]: 処置を必要とするアラームが発生しています。<br>アラームの内容を確認し、問題を解決してください。<br>問題を放置した場合、データや機器が損傷を受けるおそれがあります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| 緑                      | [アラームがクリアされました]:<br>アラームの原因となっていた状況が解消しました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| 黒                      | [正常]:<br>現在アラームは何も発生していません。<br>Network Management Card および接続下のすべてのデバイスは正常に機能しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| Export Log Format      | エクスポートされるログファイル形式を選択します。<br>カンマ区切りテキスト形式(CSV)、タブ区切りテキスト形式を使用できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| Temperature Scale      | 測定値の温度単位を選択します。US Customary は華氏に、Metric は摂氏に対応します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| Date Format            | 日付の表示形式を設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |
| Language               | English 以外サポートしていません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |    |   |                                   |   |                                                                                             |   |                                             |   |                                                                                    |

#### -Default Settings

新たにユーザアカウントを追加する際のデフォルト設定値を設定できます。

設定項目の多くは上記”Local Users > Management”の表と同じですので、そちらを参照してください。ここでは、本項目でしか設定できない項目を説明します。

| 項目                    | 説明                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Bad Login Attempts    | ログイン時にパスワード認証が失敗を許容する回数を指定します。<br>0 の場合は無制限になります。<br>許容数をこえたアカウントはロックされログインできなくなります。<br>これを解除するには、Super User アカウントで NMC にログインし、ロックしたアカウント名を”Configuration > Security > Local Users > Management”からクリックして[Access]の項目にチェックを入れます。 |
| Password Requirements |                                                                                                                                                                                                                                |
| Strong Passwords      | 有効にした場合、パスワード設定の条件を強化します。<br>パスワード設定時に半角英数で下記を全て満たすことを求められるようになります。<br>大文字、小文字、数字、記号、8 文字以上                                                                                                                                    |
| Password Policy       | パスワードの有効期限を設定します。有効期限が切れている場合はログイン時に再設定を求められます。<br>0 の場合は無期限になります。                                                                                                                                                             |

### ■Remote Users

-Authentication

未サポート項目です。

-RADIUS

未サポート項目です。

### ■Firewall

-Configuration

未サポート項目です。

-Active Policy

未サポート項目です。

-Active Rules

未サポート項目です。

-Create/Edit/Policy

未サポート項目です。

-Load Policy

未サポート項目です。

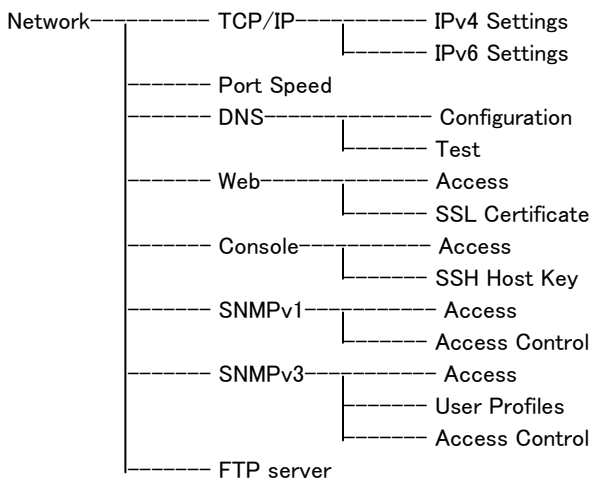
-Test

未サポート項目です。

## 6.4.13 Network

ここでは NMC のネットワークに関する設定をすることができます。

[Network の設定項目]





## ■ TCP/IP

## -IPv4 Settings

**Current IPv4 Settings**

System IP: 192.168.0.97  
 Subnet Mask: 255.255.255.0  
 Default Gateway: 192.168.0.99  
 MAC Address: 00 C0 B7 D8 7C 2E  
 Mode: Manual

**IPv4 Configuration**

IPv4:  Enable

Manual

System IP:   
 Subnet Mask:   
 Default Gateway:

BOOTP  
 DHCP

Require vendor specific cookie to accept DHCP Address

Vendor Class:   
 Client ID:   
 User Class:

IPv4 プロトコルの設定ができます。

| 項目     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IPv4   | IPv4 プロトコルを有効/無効を設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Manual | 手動で IP アドレス、SubnetMask、Default Gateway を設定します。<br>なお、Default Gateway には NMC から通信可能な実在する IP アドレスを設定する必要があります。                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| BOOTP  | 32 秒間隔で、デバイスは BOOTP サーバからのネットワーク割り当てを要求します：<br>・ 有効な応答を受信すると、NMC はネットワークサービスを開始します。<br>・ 以前のネットワーク設定が存在している場合、要求を 5 回繰り返しても(最初の要求と 4 回の再試行)有効な応答を受信しない時は、デフォルトでは以前のネットワーク設定が使用され、アクセス可能な状態が保たれます。これにより、BOOTP サーバが利用できない場合でも、アクセス可能な状態が継続します。<br>・ BOOTP サーバが見つかったが、そのサーバへの要求に失敗した場合、または要求がタイムアウトになった場合は、デバイスはネットワーク設定要求を停止します。デバイスは再起動されるまで、停止したままとなります。                               |
| DHCP   | 32 秒間隔で、デバイスは DHCP サーバからのネットワーク割り当てを要求します：<br>・ DHCP サーバが見つかったが、そのサーバへの要求に失敗した場合、または要求がタイムアウトになった場合は、Network Management Card はネットワーク設定要求を停止します。Network Management Card は再起動されるまで、停止したままとなります。<br>・ オプションとして、リースを受け入れてネットワークサービスを開始するために、[Require vender specific cookie to accept DHCP Address]を使用してデバイスをセットアップすることができます。<br>・ 下記項目は変更不要です。<br>[Vendor Class] [Client ID] [User Class] |

## -IPv6 Settings

未サポート項目です。

## ■Port Speed

ポートスピードを設定できます。

## [Current Speed]

現在のポートスピードです。

## [Port Speed]

基本的に”Auto-negotiation”から変更の必要はありませんが環境によって設定を変えてください。

## ■DNS

## -Configuration

DNS に関する設定ができます。

| 項目                           | 説明                                              |
|------------------------------|-------------------------------------------------|
| Override Manual DNS Settings | 有効にすると、手動で設定された値よりも DHCP のような他のソースからの設定が優先されます。 |
| Primary DNS Server           | 最優先で使用される DNS サーバの設定                            |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Secondary DNS Server        | “Primary DNS Server”の次に使用されるサーバの設定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| System Name Synchronization | DNS ホスト名が NMC システム名と同期します。<br>これを定義するには、[System Name] のリンクをクリックします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Host Name                   | DNS ホスト名を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Domain Name(IPv4/IPv6)      | NMC の管理インターフェイスでは、ドメイン名を設定する必要があるのはここのみです。ドメイン名を受け入れる UI の他の全部のフィールド（電子メールアドレスを除く）では、ホスト名のみを入力した場合、NMC によってドメイン名が追加されます。<br>・ 指定したホスト名にドメイン名が追加されるのを無効にしたい場合は、このドメイン名フィールドをデフォルトの「somedomain.com」か、または「0.0.0.0」に設定します。<br>・ 特定のホスト名を入力した場合（例、トラップレシーバの設定時）にドメイン名が追加されるのを無効にしたい場合は、ホスト名の後にピリオドを追加して指定します。NMC はピリオドが後続するホスト名（例：「mySnmpServer.」）を完全修飾ドメイン名と同じように認識しますのドメイン名を追加しません。 |
| Domain Name(IPv6)           | 未サポート項目です。変更しないでください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

### -Test

DNS サーバにクエリを送信して応答があるかをテストできます。

The screenshot shows the 'Send DNS Query' interface. At the top, there's a navigation bar with 'Home', 'Status', 'Control', 'Configuration', 'Tests', 'Logs', and 'About'. Below this, the 'Send DNS Query' section has a 'Last Query Response' field with the text 'No last query.' To the right, there's a 'Query Type' dropdown menu currently set to 'by Host' and a 'Query Question' text input field containing 'www.apc.com'. At the bottom of the form are 'Apply' and 'Cancel' buttons. The footer of the page includes 'Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads' and '© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 12:02'.

[Last Query Response]

テスト結果が表示されます。

[Query Type]

クエリに使用する方式を選択します。

[Query Question]

クエリに使用する値を入力します。値は[Query Type]によって異なります。

| [Query Type] | [Query Question]    |
|--------------|---------------------|
| by Host      | ホスト名                |
| by FQDN      | 完全修飾ドメイン名           |
| by IP        | IP アドレス             |
| by MX        | Mail Exchanger アドレス |

## ■Web

### -Access

Web インターフェイスのアクセス方法を設定します。ここでの変更内容を有効にするには、NMC の管理インターフェイスからログオフしなければなりません。

The screenshot shows the 'Web Access' configuration page in the Schneider Electric UPS Network Management Card 2 interface. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The 'Web Access' section contains the following settings:

- HTTP:  Enable
- HTTPS:  Enable
- HTTP Port:  [80, 5000 to 32768]
- HTTPS Port:  [443, 5000 to 32768]
- Require Authentication Cookie:  Enable
- Limited Status Access:  Enable
  - Use as default page

Buttons: Apply, Cancel

Note: Some configuration settings will require a reboot to activate.

Footer: Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads | © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 03/20/2014 at 13:02

| 項目                            | 説明                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| HTTP                          | HTTP でのアクセスを有効/無効にします。                                                                                                                                                    |
| HTTPS                         | HTTPS でのアクセスを有効/無効にします。<br>デジタル証明書の使用方式は、NMC のユーティリティ CD に収録されている『セキュリティハンドブック』の「デジタル証明書の作成とインストール」を参照してください。                                                             |
| HTTP Port                     | HTTP アクセスのポート番号を指定します。                                                                                                                                                    |
| HTTPS Port                    | HTTPS アクセスのポート番号を指定します。                                                                                                                                                   |
| Require Authentication Cookie | Cookie 認証を有効にします。                                                                                                                                                         |
| Limited Status Access         | ログイン画面の左下に「Limited Status」の表記が追加されます。<br>これをクリックすることで UPS の情報が表示されます。<br>[Use as default page]にチェックが入ると NMC にアクセス時に UPS の情報が表示されます。この画面左上の「Log On」をクリックすることでログイン画面に移動します。 |

## -SSL Certificate

証明書に関する情報の確認・設定ができます。

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**Certificate**

Status: [Valid certificate](#)

Add or Replace  
Certificate File:  [参照...](#)  
Sends a new certificate that becomes active immediately for new SSL connections.

Remove  
Removes the current certificate. This action requires a reboot to take effect. Rebooting the device while SSL is enabled generates a self-signed certificate to replace the removed certificate.

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 12:05

## [Status]

証明書の状態を表示します。“Valid certificate”のときにここをクリックすれば証明書の内容を見ることができます。

## [Add or Replace Certificate File]

Security Wizard で作成した証明書ファイルの場所まで移動します。Security Wizard で作成したデジタル証明書、または NMC で生成されたデジタル証明書の使用方法をご覧になるには、NMC のユーティリティ CD に収録されている『セキュリティハンドブック』の「デジタル証明書の作成とインストール」の項を参照してください。

## [Remove]

証明書を削除します。

## ■Console

## -Access

Telnet と SSH によるアクセスに関して設定します。

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**Console Access**

Telnet:  Enable  
SSH:  Enable

Telnet Port:  [23, 5000 to 32768]  
SSH Port:  [22, 5000 to 32768]

Note: Some configuration settings will require a reboot to activate.

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 12:05

| 項目          | 説明                       |
|-------------|--------------------------|
| Telnet      | Telnet 接続を有効/無効にします。     |
| SSH         | SSH 接続を有効/無効にします。        |
| Telnet Port | Telnet 接続に使うポート番号を指定します。 |
| SSH Port    | SSH 接続に使うポート番号を指定します。    |

## -SSH Host Key

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**User Host Key**

Status: SSH disabled: No host key in use

Add or Replace  
Host Key:

Sends a new host key that becomes active immediately for new SSH/SCP connections.

Remove  
Removes the current host key. This action requires a reboot to take effect. Rebooting the device while SSH is enabled generates a new RSA host key to replace the removed host key.

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 13:04

## [Status]

ホストキーが有効かどうか表示します。

## [Add or Replace]

Security Wizard で作成したホストキーファイルをアップロードします。Security Wizard での手順については、NMC のユーティリティ CD に収録されている『セキュリティハンドブック』を参照してください。

## [Remove]

ホストキーを削除します。

## ■SNMPv1

## -Access

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**SNMPv1 Access**

Enable SNMPv1 access

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 13:04

## [Enable SNMPv1 access]

SNMPv1 を有効/無効にします。

## -Access Control

“Community Name”の項目のコミュニティ名をクリックすることで編集が可能です。

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**Access Control**

Community Name:

NMS IP/Host Name:

Access Type:

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 13:04

## [Community Name]

コミュニティにアクセスするために Network Management Systems (以下、NMS) が使用しなければならない名前です。ASCII 文字 15 字以内で設定します。

## [NMS IP/Host Name]

NMS によりアクセスを制御する IPv4/IPv6 アドレス、IP アドレスマスク、またはホスト名です。ホスト名または特定の IP アドレスを使用することで、特定の場所の NMS のみにアクセスを許可することができます。

(例) 149.225.12.255: 149.225.12 セグメント上の NMS のみにアクセスを許可。

## [Access Type]

| 項目      | 説明                                                        |
|---------|-----------------------------------------------------------|
| Disable | 無効です。                                                     |
| Read    | GET のみ可能です。                                               |
| Write   | GET が可能です。さらに、UI または CLI にログオンしているユーザーがいない場合には SET が可能です。 |
| Write+  | GET と SET が可能です。                                          |

## ■SNMPv3

## -Access

## [Enable SNMPv3 access]

SNMPv3 を有効/無効にします。

## -User Profiles

“User Name”の項目のユーザ名をクリックすることで編集が可能です。

| 項目                        | 説明                                                                                                                                                                          |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| User Name                 | ユーザプロファイルの識別子です。SNMPv3 では、送信中のデータパケットのユーザ名をこのユーザ名と照合してユーザプロファイルに GET、SET、およびトラップをマッピングします。ユーザ名には最大 32 文字の ASCII 文字を使用できます。                                                  |
| Authentication Passphrase | 15 から 32 文字の ASCII 文字からなるフレーズ (デフォルトでは「apcauth passphrase」)により、SNMPv3 を通じてこのデバイスと通信している NMS が表明どおりの NMS であることが保証されます。                                                       |
| Privacy Passphrase        | 15 ~ 32 文字の ASCII 文字を含む語句で、(デフォルトでは apc cryptpassphrase)この語句を使用して、NMS が、暗号化を使用して、SNMPv3 でこのデバイスに送信していること、またはこのデバイスから受信しているというデータのプライバシーを確認します。                              |
| Authentication Protocol   | SNMPv3 の実装では、SHA と MD5 の認証がサポートされています。これらのいずれか1つが選択されている必要があります。                                                                                                            |
| Privacy Authentication    | SNMPv3 実装では、データの暗号化と復号には AES と DES のプロトコルがサポートされています。プライバシープロトコルとプライバシーパスワードの両方を使用しなければなりません。使用しない場合は、SNMP のリクエストは暗号化されません。<br>反対に、プライバシープロトコルは、認証プロトコルが選択されていない場合は選択できません。 |

#### -Access Control

この NMC にアクセス可能な NMS を指定するために、アクセス制御を最大 4 つ設定できます。

編集するには、ユーザ名をクリックします。

The screenshot shows the 'Access Control' configuration page in the Schneider Electric NMC interface. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The navigation bar includes 'Home', 'Status', 'Control', 'Configuration', 'Tests', 'Logs', and 'About'. The 'Access Control' section has the following fields:

- Access:**  Enable
- User Name:** apc snmp profile1 (dropdown menu)
- NMS IP/Host Name:** 0.0.0.0 (text input field)

Buttons for 'Apply' and 'Cancel' are located at the bottom left of the configuration area.

#### [Access]

ユーザプロファイルへのアクセスを有効/無効にします。

#### [User Name]

このアクセス制御を適用するユーザプロファイルをドロップダウンリストから選びます。「User Profiles」で設定してある 4 つのユーザ名が、この場合に利用できるオプションです。

#### [NMS IP/Host Name]

NMS によりアクセスを制御する IPv4/IPv6 アドレス、IP アドレスマスク、またはホスト名です。ホスト名または特定の IP アドレスを使用することで、特定の場所の NMS のみにアクセスを許可することができます。

(例) 149.225.12.255: 149.225.12 セグメント上の NMS のみにアクセスを許可。



## ■FTP server

The screenshot shows the 'FTP Server Access' configuration page. At the top, there is a navigation bar with 'Home', 'Status', 'Control', 'Configuration', 'Tests', 'Logs', and 'About'. The 'Configuration' tab is selected. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. In the top right corner, it says 'No Alarms' with a green checkmark and 'apc | English | Log Off | Help | +'. The main content area is titled 'FTP Server Access' and contains the following settings:

- Access:  Enable
- Port:  [21, 5001 to 32768]

Below the settings are 'Apply' and 'Cancel' buttons. A note at the bottom states: 'Note: Some configuration settings will require a reboot to activate.'

### [Access]

FTP アクセスの有効/無効を設定します。なお FTP では暗号化しないでファイルを転送します。

暗号化したファイルの転送には、SCP を使用します。SCP は SSH を有効にすると自動的に有効になりますが、セキュリティの高いファイル転送を強制的に行うためには FTP サービスをここで無効にする必要があります。

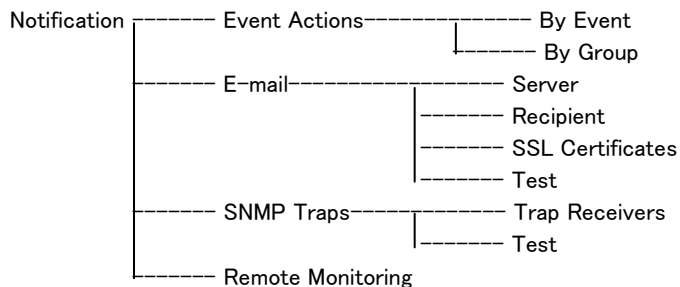
### [Port]

FTP サーバの TCP/IP ポート番号を指定できます(デフォルトでは 21)。

FTP サーバでは、指定されたポートとその番号より 1 つ小さい番号のポートの両方が使用されます。

## 6.4.14 Notification

### [Notification の設定項目]



## ■Event Actions

### -By Event

ここではイベント毎にアクションを設定できます。アクションはイベントログ、システムログ、電子メール、トラップ通知です。設定方法は下記のとおりです。デフォルトでは、発生したすべてのイベントがログに記録されます。また、システムログの設定は Syslog サーバの設定をしていないとできません。Syslog サーバの設定は、“Configuration > Logs > Syslog”を参照してください。

#### [設定手順]

1. 設定したいイベントのジャンルをクリックする。
2. 設定したいイベントをクリックする。
3. 有効にしたい箇所にチェックを入れる。
4. 電子メール、トラップ通知は一覧で表示されている対象のノードをクリックして通知の間隔などを設定する。それぞれの入力項目を次に示します。

| 項目                              | 説明                                                                            |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| Delay x time before sending     | イベントが発生し、ここで指定する期間を過ぎてもその状態が続いている場合、通知が送信されます。指定した期間内にイベントがクリアした場合、通知は行われません。 |
| Repeat at an Interval of x time | 通知はここで指定する間隔で(例: 2 分毎)送信されます。                                                 |
| Up to x times                   | イベントがアクティブである間、通知が指定した回数繰り返されます。                                              |
| Until condition Clears          | その状態がクリアまたは解消されるまで、通知が繰り返されます。                                                |

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application No Alarms

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**UPS: Lost the local network management interface-to-UPS communication. [0x0102]**

Category: [Power Events](#) | [Communication](#)  
Clearing Event: UPS: Restored the local network management interface-to-UPS communication. [0x0101]

**Log**  
 Event Log  Syslog

**E-mail**

|                                                        | Delay    | Repeat | Interval  | Duration      |
|--------------------------------------------------------|----------|--------|-----------|---------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> user@hitachi.com*  | Disabled | yes    | 2 minutes | until cleared |
| <input checked="" type="checkbox"/> user2@example.com* | Disabled | yes    | 2 minutes | until cleared |

**Trap**

|                                                            | Delay    | Repeat | Interval  | Duration      |
|------------------------------------------------------------|----------|--------|-----------|---------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 192.168.0.121 [SNMPv1] | Disabled | yes    | 2 minutes | until cleared |
| <input checked="" type="checkbox"/> 192.168.0.122 [SNMPv3] | Disabled | yes    | 2 minutes | until cleared |

\* The recipient/receiver is disabled.

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 13:24

-by Group

ここではイベントグループ毎にアクションを設定できます。

[設定手順]

1. 設定を適用するイベントをどのグループに分類するかを選ぶ。
2. "Next"をクリックし、そのグループに対するアクションを選択する。
3. 電子メール、トラップ通知は通知の間隔などを設定する。それぞれの項目については"by Event"のものと同じなのでそちらを参照してください。

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application No Alarms

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**Event Actions for Groups of Events**

Events by Severity:  
 All Critical Events  
 All Warning Events  
 All Informational Events

Events by Category:

**Power Events**

Input Line Status

Output Line Status

Battery

Bypass

Communication

Device

Diagnostics

Temperature

Scheduling

RFC 1628 MIB

**System Events**

Mass Configuration

Security

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 13:25

## ■ E-mail

## -Server

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**E-mail Server Settings**

Active Primary DNS Server: 0.0.0.0  
Active Secondary DNS Server: 0.0.0.0

**Outgoing Mail Configuration**

From Address: address@example.com  
SMTP Server: mail.example.com  
Port: 25 [25, 465, 587, 5000 to 32768]  
Authentication:  Enable  
User Name: User  
Password: .....  
Confirm Password: .....

**Advanced**

Use SSL/TLS: Never  
Require CA Root Certificate:  Enable  
File Name: There are no SSL certificates loaded.

Apply Cancel

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved.  
Site Map | Updated: 08/20/2014 at 13:26

イベント発生時に SMTP を使用して電子メールを最大 4 人の受信者に送信することができます。電子メール機能を使用するには、次の項目を設定する必要があります。

- ・ プライマリ DNS サーバおよびセカンダリ DNS サーバ(必要な場合)の IP アドレス
- ・ [SMTP Server]と[From Address]の IP アドレスまたは DNS 名
- ・ 最高 4 人までの受信者の電子メールアドレス

| 項目                                 | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Outgoing Mail Configuration</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| From Address                       | NMC が送信する電子メールメッセージの送信元欄の入力内容です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| SMTP Server                        | ローカル SMTP サーバの IPv4 アドレスまたは DNS 名です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Port                               | SMTP ポート番号はデフォルトが 25 番で、範囲は 1 ~ 65535 です。                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Authentication                     | SMTP サーバが認証を必要とする場合はこれを有効にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| User Name                          | ご使用のメールサーバで認証が必要な場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。これは単純な認証で、SSI ではありません。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Password                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Confirm Password                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>Advanced</b>                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Use SSL/TLS                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Never]: 暗号化を求めません。</li> <li>・ [If Supported]: SMTP サーバは STARTTLS のサポートを告知しませんが、暗号化された接続を求めません。STARTTLS コマンドは、告知されてから送信されます。</li> <li>・ [Always]: SMTP サーバでは、接続されている状態での STARTTLS コマンドの送信を要求します。</li> <li>・ [Implicity]: SMTP サーバは接続が暗号化されている場合のみ受け入れます。STARTTLS メッセージはサーバに送信されません。</li> </ul> |
| Require CA Root Certificate        | 送信する暗号化した電子メール用に有効な CA ルート証明書を求めます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| File Name                          | SSL の CA ルート証明書のファイル名です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

## -Recipients

電子メールの受信者を設定します。

[Add Recipient]をクリックして下記項目に適切な設定を入力します。

| 項目                      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>E-mail Recipient</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Generation              | 受信者への電子メール送信を有効/無効にします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| To Address              | 受信者のユーザ名およびドメイン名です。メールサーバの IP アドレスの DNS 参照を回避するには、角括弧内に電子メールアドレスではなく、IP アドレスを指定します。たとえば、jsmith@company.com の代わりに、jsmith@[xxx.xxx.x.xxx] と指定します。これは DNS を正しく参照できない場合に便利です。                                                                                                                                                     |
| Format                  | Long 形式では、名前、場所、連絡先、IP アドレス、デバイスのシリアル番号、日付と時刻、イベントコード、イベントの説明が含まれます。Short 形式の場合はイベントの説明のみです。                                                                                                                                                                                                                                  |
| Language                | English 以外に変更しないでください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Server                  | 以下のいずれかの電子メールのルーティング方法を選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Local]: サイトローカル SMTP サーバを通ります。</li> <li>・ [Recipient]: 受信者の SMTP サーバを通します。NMC は、受信者の電子メールアドレスに MX レコード参照を実行して、それを SMTP サーバとして使用します。</li> <li>・ [Custom]: この設定で各電子メール受信者が自身のサーバ設定が可能になります。これらの設定は、上記の "E-mail &gt; Server" の設定から独立しています。</li> </ul> |

## -SSL Certificates

セキュリティを高めるためにメール SSL 証明書を NMC に読み込みます。ファイルは .ort または .cer の識別子を持っている必要があります。決められた期間に最高 5 つまでのファイルの読み込みが可能で、インストールすると、証明書の詳細もここに表示されます。無効な証明書は、ファイル名以外のすべて欄が「n/a」と表示されます。証明書はこの画面で削除できます。証明書を使用している電子メール受信者は、手動で変更を行って、この証明書のリファレンスを削除する必要があります。

## -Test

設定した受信者にテストメールを送信します。結果は”Last Test Result”に表示されます。

## ■SNMP Traps

## -Trap Receivers

| NMS IP/Host Name | Trap Type | Generation | Language |
|------------------|-----------|------------|----------|
| 192.168.0.121    | SNMPv1    | Enabled    | English  |
| 192.168.0.122    | SNMPv3    | Enabled    | English  |

SNMP Trap を受信する IP アドレス、ホスト名が表示されます。[Add Trap Receiver]をクリックすると受信ノードを最大6個まで設定できます。

| 項目               | 説明                                                                                                                                                                                                |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Trap Generation  | 対象への Trap 送信を有効/無効にします。                                                                                                                                                                           |
| NMS IP/Host Name | レシーバの IP アドレスかホスト名を入力します。                                                                                                                                                                         |
| Language         | English 以外設定しないでください。                                                                                                                                                                             |
| SNMPv1           | [Community Name]<br>SNMPv1 トラップがトラップレシーバに送信されるときに識別子として使用される名前を設定します。<br>[Authenticate Traps]<br>このオプションが有効になっていると、[NMS IP/Host Name]により識別された NMS は認証トラップ(このデバイスへの不正なログオンの試みに対して生成されるトラップ)を受信します。 |
| SNMPv3           | このトラップレシーバに対するユーザプロファイルの識別子を選択します。                                                                                                                                                                |

-Test

The screenshot shows the web interface for the Schneider Electric UPS Network Management Card 2. The page title is "UPS Network Management Card 2" and the subtitle is "Smart-UPS/Matrix Application". The user is logged in as "apc" and the language is set to "English". The interface has a green navigation bar with tabs for "Home", "Status", "Control", "Configuration", "Tests", "Logs", and "About". The "Tests" tab is selected. Below the navigation bar, there is a section titled "Initiate Test". Under this section, the "Last Test Result" is displayed as "No test performed.". Below that, there is a "To:" label followed by a dropdown menu showing "192.168.0.121 [SNMPv1]". At the bottom of the section, there are two buttons: "Apply" and "Cancel".

[Apply]実行後に“Last Test Result”に SNMPトラップテストの結果が表示されます。SNMPトラップテストが正しく実行されても、確認できるのはトラップが送信されたことのみで、指定されたトラップレシーバが受信したかどうかは確認できません。

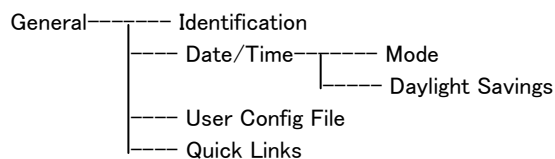
#### ■Remote Monitoring

未サポートの項目です。

### 6.4.15 General

このメニューから、デバイス ID、日付と時刻、NMC 設定オプションのエクスポート/インポートを行うことができます。

[General の設定項目]



#### ■ Identification

The screenshot shows the web interface for the Schneider Electric UPS Network Management Card 2. The page title is "UPS Network Management Card 2" and the subtitle is "Smart-UPS/Matrix Application". The interface includes a navigation menu with "Home", "Status", "Control", "Configuration", "Tests", "Logs", and "About". The "Configuration" menu is active, and the "Identification" sub-menu is selected. The "Identification" page contains the following fields:

- Host Name Synchronization:** A checkbox labeled "Enable" is currently unchecked.
- Name:** A text input field containing "apc5266EA".
- Contact:** A text input field containing "Unknown".
- Location:** A text input field containing "Unknown".
- System Message:** A large text area for entering a message, with a "256 characters left" indicator at the bottom.

At the bottom of the form, there are "Apply" and "Cancel" buttons. The footer of the page includes "Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads" and "© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:01".

[Name]にデバイス名を入力します。その他は入力する必要はありません。



## ■ Date/Time

### -Mode

**Current Settings**

Date: 08/20/2014  
 Time: 14:03:47  
 Status: Last update successful.  
 Next NTP Update: 2 hours  
 Daylight Saving Time: Disabled  
 Active Primary NTP Server: 192.168.0.66  
 Active Secondary NTP Server: 0.0.0.0

**System Time Configuration**

Time Zone: 09:00 hours (Osaka, Sapporo, Tokyo) ▼

Manual

Date: 08/20/2014 mm/dd/yyyy  
 Time: 14:03:48 hh:mm:ss  
 Apply local computer time.

Synchronize with NTP Server

Override Manual NTP Settings

Primary NTP Server: 192.168.0.66  
 Secondary NTP Server: 0.0.0.0  
 Update Interval: 24 hours [1 to 8760]

Update using NTP now.

Apply Cancel

NMC で使用する日付と時刻を設定します。既存の設定の変更は、手動で、またはネットワーク時間プロトコル(NTP)サーバを介して行います。

| 項目                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Time Zone                   | タイムゾーンを設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Manual                      | 手動で下記を入力します。<br>Date:<br>年月日を入力します。<br>Time:<br>時間を入力します。<br>Apply local computer time:<br>使用している PC の時間に合わせます。                                                                                                                                                                                                            |
| Synchronize with NTP Server | NTP サーバから時刻を取得します。以下の必要の場合設定してください。<br><br>Override Manual NTP Settings:<br>有効時、他ソースから設定した値よりもここで設定した値を優先します。<br>Primary NTP Server:<br>優先して使用する NTP サーバの IP アドレスかドメイン名を入力します。<br>Secondary NTP Server:<br>使用する NTP サーバの IP アドレスかドメイン名を入力します。<br>Update Interval:<br>同期間隔を設定します。<br>Update using NTP now:<br>即時に同期しようとします。 |

## -Daylight Savings

UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**Daylight Saving Time**

Disable DST  
 Traditional US DST (Second Sunday in March to First Sunday in November)  
 Custom DST Definition (Adds 1 hour at start, subtracts 1 hour at end)

**Start**

Date: First Sunday of January  
Time: 00:00

**End**

Date: First Sunday of January  
Time: 00:00

Apply Cancel

Note: Custom DST end time must be one hour or greater from the start time.

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:04

夏時間に関する項目です。通常設定不要です。

## ■User Config File

UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**User Configuration File (ini)**

Status: No configuration file uploaded.

Upload:

Apply Cancel Download

設定ファイルのアップロード、ダウンロードが可能です。

Upload:設定ファイルをアップロードします。[参照]をクリックして設定ファイルを選択してください。

Download:設定ファイルをダウンロードします。[Download]をクリックして任意パスを選択してください。

詳細については後述の”設定ファイルの保存/適用”を参照してください。

## ■Quick Links

未サポート項目です。

## 6.4.16 Logs

[Logs の設定項目]

```

Logs ----- Syslog ----- Servers
 |
 |----- Settings
 |
 |----- Test

```

## ■ Syslog

### -Server

Syslog サーバを登録します。

[Add Server]ボタンを押下して、下記設定項目を入力することで Syslog サーバを4つまで登録できます。

登録済みの設定を変更する場合は”Server”の項目から変更対象をクリックしてください。

下記項目を入力後、[Apply]ボタンを押下すると登録は完了です。

| 項目            | 説明                          |
|---------------|-----------------------------|
| Syslog Server | Syslog サーバの IP アドレスまたはホスト名  |
| Port          | NMC がメッセージを送信するのに用いるポート番号   |
| Language      | 言語です。English 以外に変更しないでください。 |
| Protocol      | プロトコルを選択します。                |

### -Settings

Syslog の設定を行います。

| 項目                      | 説明                                                  |
|-------------------------|-----------------------------------------------------|
| <b>Messages</b>         |                                                     |
| Message Generation      | メッセージの有効/無効にします。                                    |
| Facility Code           | ファシリティコードを設定します。                                    |
| <b>Severity Mapping</b> |                                                     |
| Critical                | NMC のイベントの重大度レベルを、システムログで利用可能な優先度に関連付けします。通常変更不要です。 |
| Warning                 |                                                     |
| Informational           |                                                     |

#### -Test

設定している全ての Syslog サーバへテストを行います。

The screenshot shows the 'UPS Network Management Card 2' interface. At the top, there is a navigation bar with 'Home', 'Status', 'Control', 'Configuration', 'Tests', 'Logs', and 'About'. The 'Tests' tab is selected. Below the navigation bar, the 'Initiate Test' section is visible. It contains the following information:

- Last Test Result:** No tests have been performed.
- Server:** All
- Severity:** Emergency (dropdown menu)
- Test Message:** APC: Test Syslog. (text input field)

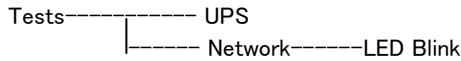
At the bottom of the 'Initiate Test' section, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

| 項目               | 説明               |
|------------------|------------------|
| Last Test Result | テスト結果が表示されます。    |
| Server           | テスト対象です。設定できません。 |
| Severity         | メッセージの重大度を設定します。 |
| Test Message     | メッセージを設定します。     |

## 6.5 Tests

Tests では UPS のテストを行うことができます。

[Tests の設定項目]



### 6.5.1 UPS

UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**Diagnostic Tests**

| Test         | Result | Date       | Source            | Cause |
|--------------|--------|------------|-------------------|-------|
| Self-Test:   | Passed | 08/19/2014 | management device | NA    |
| Calibration: | Passed | 08/06/2014 | Failed            | NA    |

Initiate:

- UPS Alarm Test
- UPS Alarm Test - Continuous
- UPS Self-Test
- Runtime Calibration

Apply Cancel

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:16

UPS のテスト、較正を行います。下記項目からひとつ選択して[Apply]ボタンを押下すると選択したテスト、較正を実行します。

| 項目                             | 説明                                                                                                            |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| UPS Alarm Test                 | UPS で 4 秒間ビープ音が鳴り、LED が点灯します。                                                                                 |
| UPS Alarm Test<br>- Continuous | テストを取り消すまで、UPS でビープ音が鳴り、LED が点灯します。これを実行すると”Cancel Continuous Alarm Test”が同じページに表示されますので、取り消すときにはこれを選択してください。 |
| UPS Self-Test                  | セルフテストを実行します。結果は同じページの”Self-Test”の”Result”に表示されます。                                                            |
| Runtime Calibration            | ランタイムの較正を実行します。                                                                                               |

### 6.5.2 Network

-LED Blink

UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**LED Blink**

LED Blink Duration:  minutes

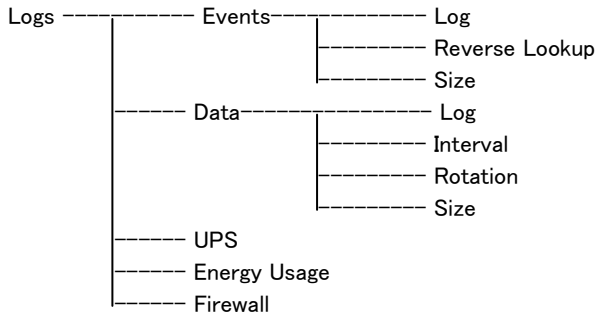
Apply Cancel

設定した時間の間、NMC の LED が点滅します。これは UPS の場所の特定に効果があります。

## 6.6 Logs

Logs では NMC に保存されているイベントログ、データログの確認ができます。

[Logs の設定項目]



### 6.6.1 Events

-Log

UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

Home Status Control Configuration Tests Logs About

Event Log Filtering

Event Time:  Last  From

All Logs

01/01/2001 00:00 to 08/20/2014 14:18

Apply Clear Log Filter Log Launch Log in New Window

Event Log

| Date       | Time     | User   | Event                                                                                                    |
|------------|----------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 08/20/2014 | 13:58:58 | apc    | Web user 'apc' logged in from 192.168.0.120.                                                             |
| 08/20/2014 | 13:54:29 | System | Web user 'apc' logged out from 192.168.0.120.                                                            |
| 08/20/2014 | 13:49:00 | System | Web user 'apc' logged out from 192.168.0.120.                                                            |
| 08/20/2014 | 13:44:17 | apc    | Web user 'apc' logged in from 192.168.0.120.                                                             |
| 08/20/2014 | 13:03:25 | apc    | Web user 'apc' logged in from 192.168.0.120.                                                             |
| 08/20/2014 | 12:16:58 | System | Web user 'apc' logged out from 192.168.0.120.                                                            |
| 08/20/2014 | 11:13:03 | apc    | Web user 'apc' logged in from 192.168.0.120.                                                             |
| 08/20/2014 | 11:12:51 | Device | UPS: Restored the local network management interface-to-UPS communication.                               |
| 08/20/2014 | 11:12:36 | System | Network service started. IPv6 address FE80::2C0:B7FF:FED8:7C2E assigned by link-local autoconfiguration. |
| 08/20/2014 | 11:12:33 | System | Network service started. System IP is 192.168.0.97 from manually configured settings.                    |
| 08/20/2014 | 11:12:27 | System | Network Interface restarted.                                                                             |
| 08/20/2014 | 11:12:19 | apc    | Network Interface restarting. Web user request.                                                          |

1 2 3 4 5 6 Next > >>

イベントログの表示およびダウンロードが可能です。下記項目を操作することでフィルターをかけることができます。フィルターの反映は[Apply]ボタンを押下する必要があります。

| 項目         | 説明                       |
|------------|--------------------------|
| Last       | 現在から指定した時間までの間のログを表示します。 |
| From       | 指定した期間のログを表示します。         |
| Filter Log | イベントレベルやグループでフィルターをします。  |

### フィルター以外の機能

|                           |                                                                     |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| Clear Log                 | ログを消去します。消去したログは元に戻りません。                                            |
| Launch Log in New Windows | 別ウィンドウを開いてログを表示します。これを実行するには使用しているブラウザで JavaScript を有効にしている必要があります。 |

ログをダウンロードする場合は本ページの右側にあるマークをクリックしてください。(上図の赤円参照)  
 なお、ダウンロードできるファイルはテキストファイルで、フィルターが有効な状態で出力されます。

#### -Reverse Lookup

ログに表示されるネットワークデバイスの IP アドレスとドメイン名が両方表示されるようになります。ドメイン名が無い場合は IP アドレスのみが表示されます。DNS サーバがされていない、もしくはトラフィック過多でパフォーマンスが低下している場合は無効にしてください。

#### -Size

ログが記録される最大数を設定できます。この値を変更する場合はそれまでのログは全て消去されます。ログが必要な場合はあらかじめファイルに出力してください。

## 6.6.2 Data

-Log

**Data Log Filtering**

Data Time:  Last  From

8 hours

08/20/2014 06:23 to 08/20/2014 14:23

Apply Clear Data Log Launch Log in New Window

**Data Log**

| Smart-UPS 1200 |          |       |        |        |      |       |      |        |        |       |       |  |
|----------------|----------|-------|--------|--------|------|-------|------|--------|--------|-------|-------|--|
| Date           | Time     | Vmin  | Vmax   | Vout   | Iout | %Wout | %out | FrqOut | %Cap   | Vbat  | Tups  |  |
| 08/20/2014     | 14:12:29 | 98.58 | 99.67  | 98.92  | 0.00 | 0.00  | 0.00 | 49.99  | 100.00 | 40.94 | 24.54 |  |
| 08/20/2014     | 13:52:29 | 98.50 | 99.83  | 99.41  | 0.00 | 0.00  | 0.00 | 50.01  | 100.00 | 40.94 | 24.56 |  |
| 08/20/2014     | 13:32:29 | 98.84 | 100.09 | 99.33  | 0.00 | 0.00  | 0.00 | 50.04  | 100.00 | 40.94 | 24.54 |  |
| 08/20/2014     | 13:12:29 | 99.17 | 100.84 | 99.33  | 0.00 | 0.00  | 0.00 | 50.02  | 100.00 | 40.94 | 24.54 |  |
| 08/20/2014     | 12:52:29 | 99.41 | 100.50 | 99.67  | 0.00 | 0.00  | 0.00 | 50.06  | 100.00 | 40.88 | 24.54 |  |
| 08/20/2014     | 12:32:29 | 99.91 | 101.16 | 100.25 | 0.00 | 0.00  | 0.00 | 50.03  | 100.00 | 40.88 | 24.54 |  |

UPS での測定記録、UPS への入力電力、UPS とバッテリーの周辺温度を確認できます。各入力事項はデータが記録された日別の一覧されます。

| 項目                        | 説明                                                                  |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| Last                      | 現在から指定した時間までの間のログを表示します。                                            |
| From                      | 指定した期間のログを表示します。                                                    |
| フィルター以外の機能                |                                                                     |
| Clear Log                 | ログを消去します。消去したログは元に戻りません。                                            |
| Launch Log in New Windows | 別ウィンドウを開いてログを表示します。これを実行するには使用しているブラウザで JavaScript を有効にしている必要があります。 |

ログをダウンロードする場合は本ページの右側にあるマークをクリックしてください。(上図の赤円参照)  
 なお、ダウンロードできるファイルはテキストファイルで、フィルターが有効な状態で出力されます。

-Interval

**Data Log Interval**

A maximum of 20.83 days of data will be available based upon the current Log Interval of 0 hours, 20 minutes, 0 seconds. After the data log reaches the maximum size, the oldest entries will be truncated from the log as newer entries are logged.

Log Interval:  hours,  minutes,  seconds [range: 1 minute - 18.2 hours]

Apply Cancel

データログの記録間隔を指定できます。間隔が短いほどデータログは大きくなりますので記録可能な時間が短くなります。ログが容量を超えると古いログから削除されます。どの程度記録が可能かは間隔適用時に入力画面に表示されます。



## -Rotation

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

### Data Log Rotation

Last Upload Result: None available.

Data Log Rotation:  Enable

FTP Server:

User Name:

Password:

File Path:

Filename:

Unique File name:  Enable

#### Parameters

Delay  hours between uploads. [range: 1 to 24]

Upon failure, try uploading every  minutes [range: 10 to 240]

up to  times [range: 1 to 99]

until upload succeeds

Note: 'Upload Now' may take a minute to complete.

[Knowledge Base](#) | [Schneider Electric Product Center](#) | [Schneider Electric Downloads](#)

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved.  
Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:28

データログが許容量を超えた場合、古いログから削除されますが、この機能を有効にすることで FTP サーバ上のレポジトリファイルにデータログのコンテンツを保存できます。これにより、データを削除する前に保存することができます。

| 項目                                            | 説明                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Data Log Rotation                             | データログローテーション機能を有効/無効にします。                                                                                                         |
| FTP Server                                    | FTP サーバの IP アドレスかホスト名を入力します。                                                                                                      |
| User Name                                     | レポジトリファイルへデータ送信するために必要なアカウント名、パスワードを入力します。                                                                                        |
| Password                                      |                                                                                                                                   |
| File Path                                     | レポジトリファイルのパスです。                                                                                                                   |
| Filename                                      | レポジトリファイル (ASCII テキストファイル形式) のファイル名、例 datalog.txt。<br>新しいデータはファイルに上書きされるのではなく、追加されます。                                             |
| Unique File Name                              | このボックスを選択して、ログを mmddyyyy_<ファイル名>.txt として保存します。ここで、<ファイル名>は上の [Filename] で指定したものです。<br>任意の新しいデータがファイルに付け加えられますが、その日ごとの別のファイルとなります。 |
| <b>Parameters</b>                             |                                                                                                                                   |
| Delay [X] hours between uploads               | データのアップロード間隔の時間数 (最大: 24 時間)                                                                                                      |
| Upon failure, try uploading every [X] minutes | レポジトリファイルへのデータ更新が正しく行われなかった場合に再試行を行う間隔 (単位: 分)                                                                                    |
| up to [X] times                               | レポジトリファイルへのデータ更新が正しく行われなかった場合に、最初に失敗してから最大で何回再試行を行うかの値です。                                                                         |
| until upload succeeds                         | ファイルの転送が完了するまで再試行が繰り返されます。                                                                                                        |

-Size

ログが記録される最大数を設定できます。この値を変更する場合はそれまでのログは全て消去されます。ログが必要な場合はあらかじめファイルに出力してください。

### 6.6.3 UPS

The screenshot shows the 'UPS Network Management Card 2' interface. The top navigation bar is green with white text: Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, About. The 'Logs' tab is selected. Below the navigation bar, there are two log sections:

**UPS Transfer Logs**

| Number | Time (ms)     | Event Code | Event           |
|--------|---------------|------------|-----------------|
| 1      | 55868129438   | 9          | Self test       |
| 2      | 55868129438   | 3          | distorted input |
| 3      | 1033493342751 | 9          | Self test       |
| 4      | 55868129438   | 3          | distorted input |
| 5      | 55868129438   | 3          | distorted input |
| 6      | 55868129438   | 3          | distorted input |
| 7      | 55868129438   | 9          | Self test       |
| 8      | 56237228032   | 3          | distorted input |
| 9      | 55868129438   | 9          | Self test       |
| 10     | 55868129438   | 3          | distorted input |

**UPS Fault Logs**

| Number | Time (ms) | Event Code | Event |
|--------|-----------|------------|-------|
| 1      | 0         | 100        | None  |
| 2      | 0         | 100        | None  |
| 3      | 0         | 100        | None  |
| 4      | 0         | 100        | None  |
| 5      | 0         | 100        | None  |
| 6      | 0         | 100        | None  |
| 7      | 0         | 100        | None  |
| 8      | 0         | 100        | None  |
| 9      | 0         | 100        | None  |
| 10     | 0         | 100        | None  |

Footer: Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads | © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:32

この情報は UPS デバイスから出力されたログです。NMC ログとは別のものですがサポート時に必要になる場合があります。

### 6.6.4 Energy Usage

The screenshot shows the 'UPS Network Management Card 2' interface. The top navigation bar is green with white text: Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, About. The 'Energy Usage' section is active, displaying summary statistics and a table of weekly usage.

**Energy Usage Summary:**

- Energy Usage: 63.930 kWh
- Total Cost: --
- CO<sub>2</sub> Emissions: -- kg CO<sub>2</sub>

Location: Custom (Untitled) (edit)

Cost/kWh: -- (edit)

kgCO<sub>2</sub>/kWh: -- (edit)

| Week                    | Energy Usage (kWh) | Total Cost | CO <sub>2</sub> Emissions (kg) |
|-------------------------|--------------------|------------|--------------------------------|
| 08/17/2014 - Now        | 7.096              | --         | --                             |
| 08/10/2014 - 08/17/2014 | 2.745              | --         | --                             |
| NA - 08/10/2014         | 54.089             | --         | --                             |

Footer: Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads | © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:34

UPS デバイスの累積電力使用量の数字が画面上部に、週別の内訳を示す画面の下の表とともに表示されます。

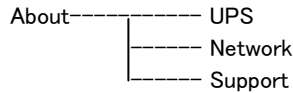
| 項目                        | 説明                                                                                                                                                 |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Energy Usage              | UPS が消費したキロワット時(kWh)表示の電力量。                                                                                                                        |
| Total Cost                | 使用した電力の推定費用合計。                                                                                                                                     |
| CO <sub>2</sub> Emissions | 電力会社が環境に排出した CO <sub>2</sub> の推定量。                                                                                                                 |
| Location                  | 該当する国を選択してください。上記 3 つの項目についての推定値を求めることができます。推定値を計算するのに使われる kWh ごとの費用および CO <sub>2</sub> の排出量はプルダウンリストの右の(edit)から編集できます。編集した場合、国名には Custom が追記されます。 |

### 6.6.5 Firewall

未サポート項目です。

## 6.7 About

About では UPS や NMC のファームウェアバージョンを確認することができます。



### 6.7.1 UPS

The screenshot shows the 'About UPS' page in the Schneider Electric Network Management Card 2 interface. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The 'About UPS' section displays the following information:

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| Model:                 | Smart-UPS 1200  |
| SKU:                   | HTM1200RMJ1U    |
| Serial Number:         | AS1329130460    |
| Firmware Revision:     | UPS 09.6 (ID20) |
| Manufacture Date:      | 03/14/2014      |
| Apparent Power Rating: | 1200 VA         |
| Real Power Rating:     | 1000 W          |
| Internal Battery SKU:  | RBC88           |

At the bottom of the page, there is a footer with links to Knowledge Base, Schneider Electric Product Center, and Schneider Electric Downloads, along with a copyright notice: © 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:38.

UPS についての詳細を表示します。

### 6.7.2 Network

The screenshot shows the 'Hardware Factory' page in the Schneider Electric Network Management Card 2 interface. The page title is 'UPS Network Management Card 2 Smart-UPS/Matrix Application'. The navigation menu includes Home, Status, Control, Configuration, Tests, Logs, and About. The 'Hardware Factory' section displays the following information:

|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| Model Number:      | AP9630                    |
| Serial Number:     | BA0911001509              |
| Hardware Revision: | 05                        |
| Manufacture Date:  | 03/10/2009                |
| MAC Address:       | 00 C0 B7 D8 7C 2E         |
| Management Uptime: | 0 Days 3 Hours 25 Minutes |

The 'Application Module' section displays the following information:

|          |            |
|----------|------------|
| Name:    | sumx       |
| Version: | v6.2.0.b   |
| Date:    | Jul 8 2014 |
| Time:    | 18:28:56   |

The 'APC OS (AOS)' section displays the following information:

|          |            |
|----------|------------|
| Name:    | aos        |
| Version: | v6.2.0.b   |
| Date:    | Jul 8 2014 |
| Time:    | 11:53:29   |

The 'APC Boot Monitor' section displays the following information:

|          |            |
|----------|------------|
| Name:    | bootmon    |
| Version: | v1.0.8     |
| Date:    | Apr 8 2014 |
| Time:    | 10:59:40   |

At the bottom of the page, there is a footer with links to Knowledge Base, Schneider Electric Product Center, and Schneider Electric Downloads, along with a copyright notice: © 2014, Schneider Electric. All rights reserved.

NMC についての詳細を表示します。

### 6.7.3 Support

**Schneider Electric** UPS Network Management Card 2  
Smart-UPS/Matrix Application

apc | English | Log Off | Help |

Home Status Control Configuration Tests Logs About

**Support Resources**

| Name                          | URL                                                                                                         |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Knowledge Base                | <a href="http://www.apc.com/site/support/index.cfm/faq/">http://www.apc.com/site/support/index.cfm/faq/</a> |
| Company Contact Information   | <a href="http://www.apc.com/support/contact/index.cfm">http://www.apc.com/support/contact/index.cfm</a>     |
| Software & Firmware Downloads | <a href="http://www.apc.com/tools/download/index.cfm">http://www.apc.com/tools/download/index.cfm</a>       |

**Technical Support Debug Information Download**

This feature captures an assortment of debug data into a single file and then allows the user to download that file to a local computer which is intended for **technical support use**. Note: File generation may take up to a minute to complete.

Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads

© 2014, Schneider Electric. All rights reserved.  
Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:38

サポートに必要な情報をダウンロードすることができます。ダウンロードの手順は下記のとおりです。

- 1.[Generate Logs]ボタンを押下して、上部のプログレスバーが 100%になるのを待ちます。  
(生成まで数分かかる場合があります。実行中はページを移動しないで下さい。)
- 2.[Download]ボタンを押下して保存場所を決めます。
- 3.TAR ファイルが保存されます。

## 7. 通知機能

NMC には様々な通知機能があります。  
ここでは通知機能について説明します。

### 7.1 イベントアクション

イベントアクションは、イベント毎またはイベントグループに対して発生するよう設定できます。  
これらのイベントアクションが発生した場合、当該イベントのユーザには次の任意の方法で通知できます。

- ・ 能動的な自動通知。通知は、事前設定されたユーザまたは監視デバイスに直接送信されます。

- 電子メール通知
- SNMP トラップ
- Syslog 通知

- ・ 間接的な通知

- イベントログ

直接通知を設定しない場合は、発生したイベントを特定するには、ログを確認する必要があります。  
また、システム性能データをログ記録してデバイス監視に使用することもできます。このデータログオプションの設定については、「Logs > Data」を参照してください。

- クエリ(SNMP GET)

詳細については「SNMP」を参照してください。SNMPでは、Network Management Systems (NMS)が有効になり情報のクエリが実行されるようになります。SNMPv1 では、データ送信前に暗号化を行わないため、アクセスタイプ(READ)を設定すると、情報のクエリを実行しても、リモート設定が変更される危険性はありません。

- ・ イベントアクションの設定

イベントアクションをイベント毎またはグループで設定する場合、パラメータを設定することができます。  
設定に関しては「Notification > Event Actions > By Event またはBy Group」を参照してください。

### 7.2 電子メール設定

「Notification > E-mail」の各項目を参照し、設定を行ってください。

### 7.3 SNMP trap 設定

「Notification > SNMP Traps > Trap Receivers」の項目を参照し、設定を行ってください。

### 7.4 Syslog 設定

「Logs > Syslog」の各項目を参照し、設定を行ってください。

## 7.5 イベントログ

ここではNMCで出力されるイベントログの主なログについて説明します。

| イベントログ                                                                                                 | 日本語訳                                         | 意味                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Network Interface coldstarted.                                                                         | NMCがコールドスタートしました。                            | 設定変更を伴うNMCの再起動、もしくはNMCへの通電開始(電源オン・オフなどでNMC再起動または、データがクリアされている場合にイベント発行)                                            |
| Network Interface restarted.                                                                           | NMCが再起動しました。                                 | 設定変更を伴わないNMCの再起動。これが定期的に出力される場合は、NMCと実際に通信ができるGatewayアドレスを設定してください。ネットワーク接続を確認してください。                              |
| Lost the local network management interface-to-UPS communication.                                      | NMCから UPS への通信ができません。                        | UPSとNMCの通信が切断了ました。<br>・NMCがUPSから外れていないか確認してください。                                                                   |
| Restored the local network management interface-to-UPS communication.                                  | NMCから UPS への通信が回復しました。                       | UPSとNMCの通信が回復しました。                                                                                                 |
| Self-Test passed.                                                                                      | セルフテスト成功                                     | セルフテストが成功しました。                                                                                                     |
| Self-Test Failed                                                                                       | セルフテスト失敗                                     | セルフテストが失敗しました。                                                                                                     |
| The battery power is too low to support the load if power fails, the UPS will be shutdown immediately. | バッテリー容量低下、設定されたバッテリー容量以下ならUPSはすぐにシャットダウンします。 | バッテリー動作直後やバッテリー容量が低下している場合に表示されます。バッテリーを十分に充電したか確認してください。バッテリーが劣化している可能性があります。UPSもしくはNMCのローバッテリー設定に問題がないか確認してください。 |
| A discharged battery condition no longer exists.                                                       | バッテリー放電状態が解消しました。                            | バッテリー容量が復帰しました。                                                                                                    |
| On battery power in response to an input power problem.                                                | 入力電源の問題に対応するためバッテリー電源で作動しています。               | 入力電源異常により、UPSがバッテリー運転に切り替わっています。                                                                                   |
| No longer on battery power.                                                                            | バッテリー動作の状態ではなくなりました                          | UPSは、バッテリー動作からオンライン運転に復帰しました。                                                                                      |
| Compensating for a low input voltage.                                                                  | 低入力電圧補正が行われています。                             | 低入力電圧補正が行われています。<br>特に異常ではありません。但し、頻繁に本記録が発生する場合は、電源が大きく変動したり、波形が乱れている可能性があります。UPSの入力プラグを別の電源に接続する等の処置してください。      |
| No longer compensating for a low input voltage.                                                        | 低入力電圧補正はおこなわれなくなりました。                        | 低入力電圧補正はおこなわれなくなりました。                                                                                              |
| Compensating for a high input voltage.                                                                 | 高入力電圧補正が行われています。                             | 高入力電圧補正が行われています。                                                                                                   |
| No longer compensating for a high input voltage.                                                       | 高入力電圧補正はおこなわれなくなりました。                        | 高入力電圧補正が行われなくなりました。                                                                                                |
| A graceful shutdown in progress.                                                                       | 正常なシャットダウン処理を実施しています。                        | PCNSからの指示でシステム装置の正常なシャットダウン処理を実施しています。                                                                             |

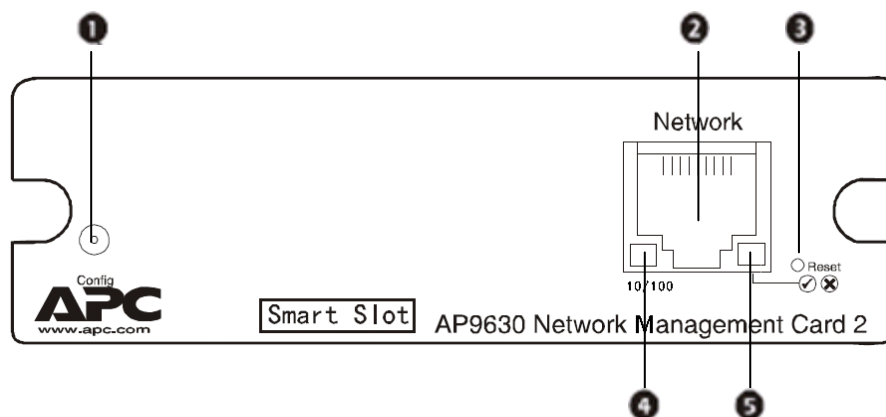
## 8. NMC ハードウェア仕様

### 8.1 各部の名称と機能

ここでは、NMCの各部の名称について説明します。

前面パネル

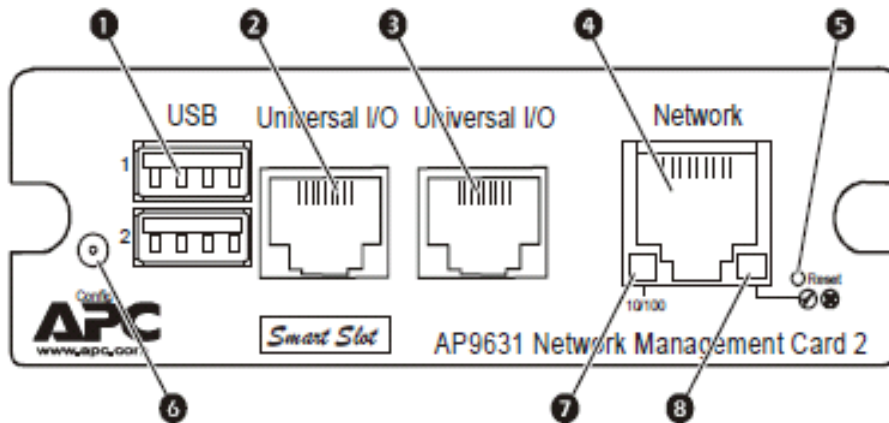
[BUA703x]



| 項番 | 名称                  | 参照方法                                                                                     |
|----|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | シリアル設定ポート           | 製品添付のシリアルケーブル(番号940-0299)を接続するポートです。管理用システム装置と接続し、コマンドラインインターフェイスから、IPアドレス等の設定用として使用します。 |
| 2  | 10/100 Base-T コネクタ  | ネットワークケーブルを接続するポートです。                                                                    |
| 3  | リセットボタン             | 電源が入った状態で、NMCをリセット(再起動)するためのボタンです。                                                       |
| 4  | リンクRX/TX(10/100)LED | 「8.2 NMCのLED表示」参照                                                                        |
| 5  | ステータスLED            | 「8.2 NMCのLED表示」参照                                                                        |



[BURA5000初期搭載NMC]



| 項番  | 名称                  | 参照方法                                                                                     |
|-----|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | USBポート              | 未サポートです。                                                                                 |
| 2,3 | センサポート              | 温度センサを接続するポートです。                                                                         |
| 4   | 10/100 Base-T コネクタ  | ネットワークケーブルを接続するポートです。                                                                    |
| 5   | リセットボタン             | 電源が入った状態で、NMCをリセット(再起動)するためのボタンです。                                                       |
| 6   | シリアル設定ポート           | 製品添付のシリアルケーブル(番号940-0299)を接続するポートです。管理用システム装置と接続し、コマンドラインインターフェイスから、IPアドレス等の設定用として使用します。 |
| 7   | リンクRX/TX(10/100)LED | 「8.2 NMCのLED表示」参照                                                                        |
| 8   | ステータスLED            | 「8.2 NMCのLED表示」参照                                                                        |

## 8.2 NMC の LED 表示

リンクRX/TX(10/100)LED

| インジケータの状態 | 意味                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 消灯        | 以下の項目(ひとつまたは複数)に相当する状況になっています。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>- NMCが入力電源を受けていません。</li> <li>- NMCとネットワークを接続しているケーブルが接続されていないか、あるいは故障しています。</li> <li>- NMCとネットワークを接続している機器に電源が入っていないか、あるいは正しく機能していません。</li> <li>- NMC自体が正常に動作していません。修理または交換が必要な可能性があります。</li> </ul> |
| 緑点灯       | NMCは毎秒10メガビット(Mbps)の速度で作動するネットワークに接続されています。                                                                                                                                                                                                                                  |
| オレンジ点灯    | NMCは毎秒100メガビット(Mbps)の速度で作動するネットワークに接続されています。                                                                                                                                                                                                                                 |
| 緑点滅       | 毎秒10メガビット(Mbps)の速度でNMCがネットワークからデータパケットを送受信しています。                                                                                                                                                                                                                             |
| オレンジ点滅    | 毎秒100メガビット(Mbps)の速度でNMCがネットワークからデータパケットを送受信しています。                                                                                                                                                                                                                            |

## ステータスLED

| インジケータの状態    | 意味                                                                            |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 消灯           | 次のいずれかの状況です。<br>- NMCが入力電源を受けていません。<br>- NMCが正常に動作していません。修理または交換が必要な可能性があります。 |
| 緑点灯          | NMCのTCP/IP設定は有効です。                                                            |
| オレンジ点灯       | NMCでハードウェア障害が検出されました。                                                         |
| 緑点滅          | NMCのTCP/IP設定が正しくありません。                                                        |
| オレンジ点滅       | NMCがBOOTPリクエストを作成しています。                                                       |
| 緑とオレンジが交互に点滅 | LEDが交互にゆっくり点滅する場合は、NMCがDHCPリクエストを作成しています。<br>LEDが交互にすばやく点滅している場合、NMCは起動中です。   |

## 9. 設定ファイルの保存/適用

この章では、NMCの設定ファイルをバックアップする操作手順を説明します。

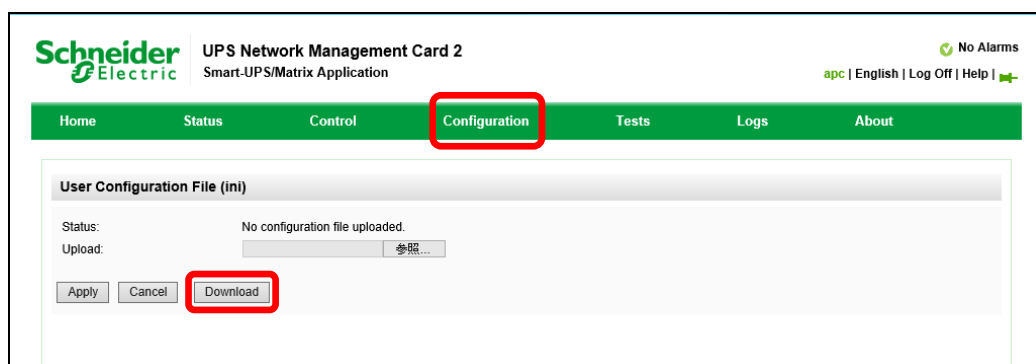
設定ファイルは、必ず保存し、管理することを推奨いたします。

取得した設定ファイルをハードウェア交換等で他カードへリストアすることで、新たな設定作業が不要となり、設定内容を保持することができます。

### ■設定ファイルの保存

NMC 管理インターフェイスの「Configuration > General > User Config File」を選択してください。

[Download]ボタンを押下して、「config.ini」を任意パスに保存してください。

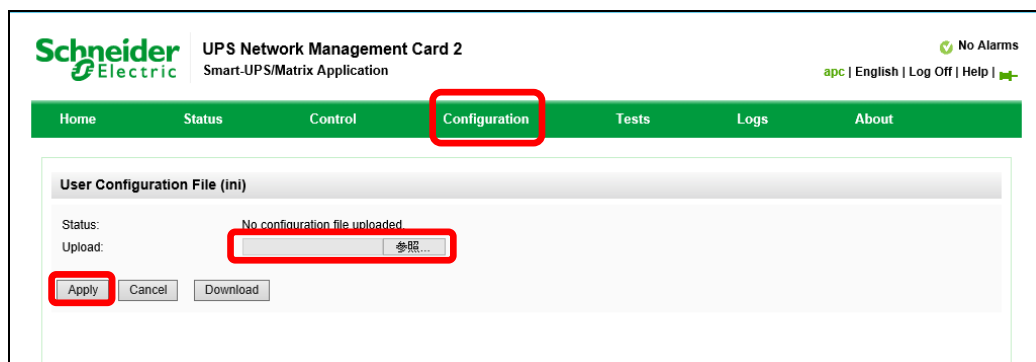


### ■設定ファイルの適用

NMC 管理インターフェイスの「Configuration > General > User Config File」を選択してください。

[参照]ボタンを押下して、保存した「config.ini」を選択してください。その後、[Apply]ボタンを押下してください。適用内容によっては、背景黄色の黒文字で NMC の再起動が必要な旨のメッセージが表示されますので再起動してください。NMC の再起動については 6.3.4 章を参照してください。

“Status”に“Configuration file successfully uploaded”が表示されれば適用完了です。適用には数分かかります。また“Status”はこのページを再表示しないと変更されない場合があります。



## [注意事項]

以下の項目はリストアすることができません。設定ファイル適用後、個別に再設定をお願いします。

## (1) 6.4.3章「Authentcation Phrase」

フレーズを変更していた場合、再設定が必要です。

## (2) 6.4.12章「SuperUser managemant」

パスワードを変更していた場合、再設定が必要です。

## (3) 6.4.12章「General User Management」

ユーザを追加していた場合、再設定が必要です。

## (4) 6.6.2章 「Data Log Rotation」

FTPパスワードの再設定が必要です。

## (5) 6.4.13章「IPv4 Settings」

IPアドレス、SubnetMask、Default Gateway は再設定が必要です。

ただし、Manual、BOOTP、DHCPの選択結果は引き継ぎます。

## 10. パスワードを忘れた場合

パスワードを忘れた場合は、NMCにシリアルポートを通して接続されているローカルコンピュータを使用して、コマンドラインインターフェイスにアクセスします。

1. ローカルコンピュータのシリアルポートを選択して、このポートを使用するサービスをすべて無効にします。
2. 製品添付のシリアルケーブル(番号940-0299)の一端をコンピュータの選択したポートに、もう一端をNMCの設定ポートに接続します。
3. 端末プログラム(HyperTerminal® など)を起動し、選択したポートの設定を9600bps、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット、フロー制御なしに変更します。
4. ENTER キーを押して(必要に応じて繰り返し押しください)、[User Name] プロンプトを表示します。  
[User Name] プロンプトを表示できない場合は、次を確認してください。
  - ・このシリアルポートが他のアプリケーションによって使用されていない
  - ・端末の設定が手順3 の指定通りに正しく行われている
  - ・手順2 で指定の適切なケーブルが使用されている
5. NMCの [Reset] ボタンを押します。ステータスLED がオレンジと緑の交互点滅になります。LEDが点滅している間にすぐに[Reset] ボタンを再度押して、ユーザ名とパスワードを一時的にデフォルト値に戻します。しばらくするとステータスLEDが緑点灯します。
6. [User Name] プロンプトを再表示するためにENTER キーを数回押します。そして、ユーザ名とパスワードとして、デフォルト値の「apc」を入力します。([User Name] プロンプトの再表示後、ログオンに30秒以上かかった場合は、手順5 を繰り返してログオンし直さなければなりません)。
7. コマンドラインインターフェイスで次のコマンドを使用して、[User Name]のパスワードを再設定します。

```
user -n User Name -pw Password
```

例えば、ユーザ名「user1」のパスワードを「pass」に変更したい場合は次のように入力します。

```
user -n user1 -pw pass
```
8. 「quit」または「exit」と入力してログオフし、シリアルケーブル(番号940-0299)を外し、無効にしたサービスもすべて再起動します。

## 11. トラブルと思った時は

使用中トラブルと思われる現象が発生した場合は、保守員に連絡する前に以下の項目を確認ください。

下記に示す対処をおこなっても解消しない場合は保守員へ連絡ください。

| 現象                              | 対処方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| NMCへのping が失敗する                 | <p>NMCのステータスLED が緑の場合、NMCと同じネットワークセグメントの別のノードに対してping を試行します。これが失敗する場合、問題はNMCに起因するものではありません。ステータスLED が緑でない場合、またはping テストが成功した場合は、次の事柄を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NMCがUPS に正しく挿入されているかを確認します。</li> <li>・すべてのネットワーク接続を確認します。</li> <li>・NMCとシステム装置 のIP アドレスを確認します。</li> <li>・システム装置がNMCと異なる物理ネットワーク(またはサブネットワーク)上にある場合は、デフォルトゲートウェイ(またはルーター)のIP アドレスを確認します。</li> <li>・NMCのサブネットマスクのサブネットビット数を確認します。</li> </ul>                                  |
| 通信ポートから端末プログラムを通して指定できない        | <p>端末プログラムを使用してNMCを設定するには、その前にその通信ポートを使用しているすべてのアプリケーション、サービス、プログラムを終了する必要があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| コマンドラインインターフェイスにシリアル接続でアクセスできない | <p>ボーレートを変更していないことを確認してください。2400、9600、19200 または38400 で試します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| コマンドラインインターフェイスにリモートアクセスできない    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいアクセス方法(Telnet またはSecure Shell (SSH))を使用しているかを確認してください。これらのアクセス方法を有効にするには管理者の権限が必要です。デフォルトでは、Telnet が有効です。</li> <li>・Secure Shell (SSH) の場合は、NMCがホストキーを作成中である可能性があります。NMCはこのホストキーの作成に最高で1分かかります。この間SSH にはアクセスできません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                |
| Web インターフェイスにアクセスできない           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・HTTP またはHTTPSアクセスが有効になっているかどうかを確認します。</li> <li>・正しいURLを指定していることを確認します。これはNMCで使用されているセキュリティシステムと同一である必要があります。SSL では、URL の始めの部分が「https」(「http」ではなく)になっていなければなりません。</li> <li>・NMCにping を実行して応答があるかどうかを確認してください。</li> <li>・NMCでサポートされているWebブラウザを使用しているかどうかを確認します。詳細については、「システム要件」の[Webブラウザ]を参照してください。</li> <li>・NMCが再起動したばかりでSSL セキュリティの設定中である場合は、NMCがサーバ証明書を生成中の可能性があります。NMCはこの証明書を作成するのに最大で1分かかります。この間SSL サーバは利用できません。</li> </ul> |

## 12. 調査資料一覧および採取方法

障害が発生した場合は、弊社サポートサービスにて原因調査などの問題解決に向けたご支援をいたします。お問合せの際には、以下の資料をご用意ください。UPS 管理ソフト「PowerChute Network Shutdown」をご使用されている場合は、「PowerChute Network Shutdown 日立補足説明書」を参照いただき、管理ソフトのログの採取をお願いします。

下記手順でログを採取してください。このログにはイベントログ、データログ、設定ファイルなどが TAR で圧縮された 1 ファイルで出力されます。

- 1.NMC 管理インターフェイスの「About > Support」を選択してください。
- 2.画面下部左側の[Generate Logs]ボタンをクリックしてください。
- 3.プログレスバーが 100%になるまで待機してください。
4. 画面下部右側の[Download]ボタンをクリックしてファイルを保存してください。

The screenshot shows the 'UPS Network Management Card 2' interface. The top navigation bar includes 'Home', 'Status', 'Control', 'Configuration', 'Tests', 'Logs', and 'About' (highlighted with a red box). Below the navigation bar, there is a 'Support Resources' section with a table of links:

| Name                          | URL                                                                                                         |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Knowledge Base                | <a href="http://www.apc.com/site/support/index.cfm/faq/">http://www.apc.com/site/support/index.cfm/faq/</a> |
| Company Contact Information   | <a href="http://www.apc.com/support/contact/index.cfm">http://www.apc.com/support/contact/index.cfm</a>     |
| Software & Firmware Downloads | <a href="http://www.apc.com/tools/download/index.cfm">http://www.apc.com/tools/download/index.cfm</a>       |

Below the table, there is a section for 'Information Download' with a red box around the label 'プログレスバー' (Progress Bar) and an empty input field. Below the input field are two buttons: 'Generate Logs' and 'Download'. The footer contains the text: 'Knowledge Base | Schneider Electric Product Center | Schneider Electric Downloads' and '© 2014, Schneider Electric. All rights reserved. Site Map | Updated: 08/20/2014 at 14:38'.

## 13. 仕様

### ■ 装置仕様

| 項目         | 内容                               | 備考 |
|------------|----------------------------------|----|
| 形名         | BUA703                           |    |
|            | BURA5000 標準搭載 NMC                |    |
| 製品名        | UPS ネットワーク・マネージメント<br>カード        |    |
| 外部インターフェイス | ネットワークポート<br>10/100Base-T コネクタ   |    |
| 外形寸法       | 120.7(W) x 108.0(D) x 38.1(H) mm |    |
| 重量         | 0.14kg                           |    |
| 消費電力       | 2.1W(typ)                        |    |
| 環境温度       | 10～35℃(動作時)                      |    |
| 湿度         | 0～95% 結露なきこと                     |    |

※BURA5000 標準搭載 NMC の装置仕様は、UPS 本体の装置仕様と同等です。

### ■ 有寿命部品

本カードで使用しているアルミ電解コンデンサーは使用しているうちに劣化・消耗する有寿命部品のため、定期的に新しいものと交換してください。交換については下記に示す装置単位での交換となり有償扱いです。お買い求め先にご連絡ください。

| 品名                   | 耐用年数       | 適用製品形名  |
|----------------------|------------|---------|
| UPSネットワーク・マネージメントカード | 約 5 年 (*1) | BUA703x |

※BURA5000 標準搭載 NMC の装置仕様は、UPS 本体の装置仕様と同等です。

(\*1) 耐用年数は通常の事務室環境・標準使用状態で、1日 24 時間、1 ヶ月 30 日の通電使用を想定した値です。使用環境・状態により上記の寿命は変わります。



このページは空白です

---

**UPS ネットワークマネジメントカード  
取扱説明書**

第 2 版 2015 年 3 月

無断転載を禁じます

---

株式会社 日立製作所  
IT プラットフォーム事業本部